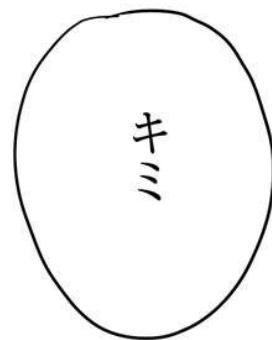




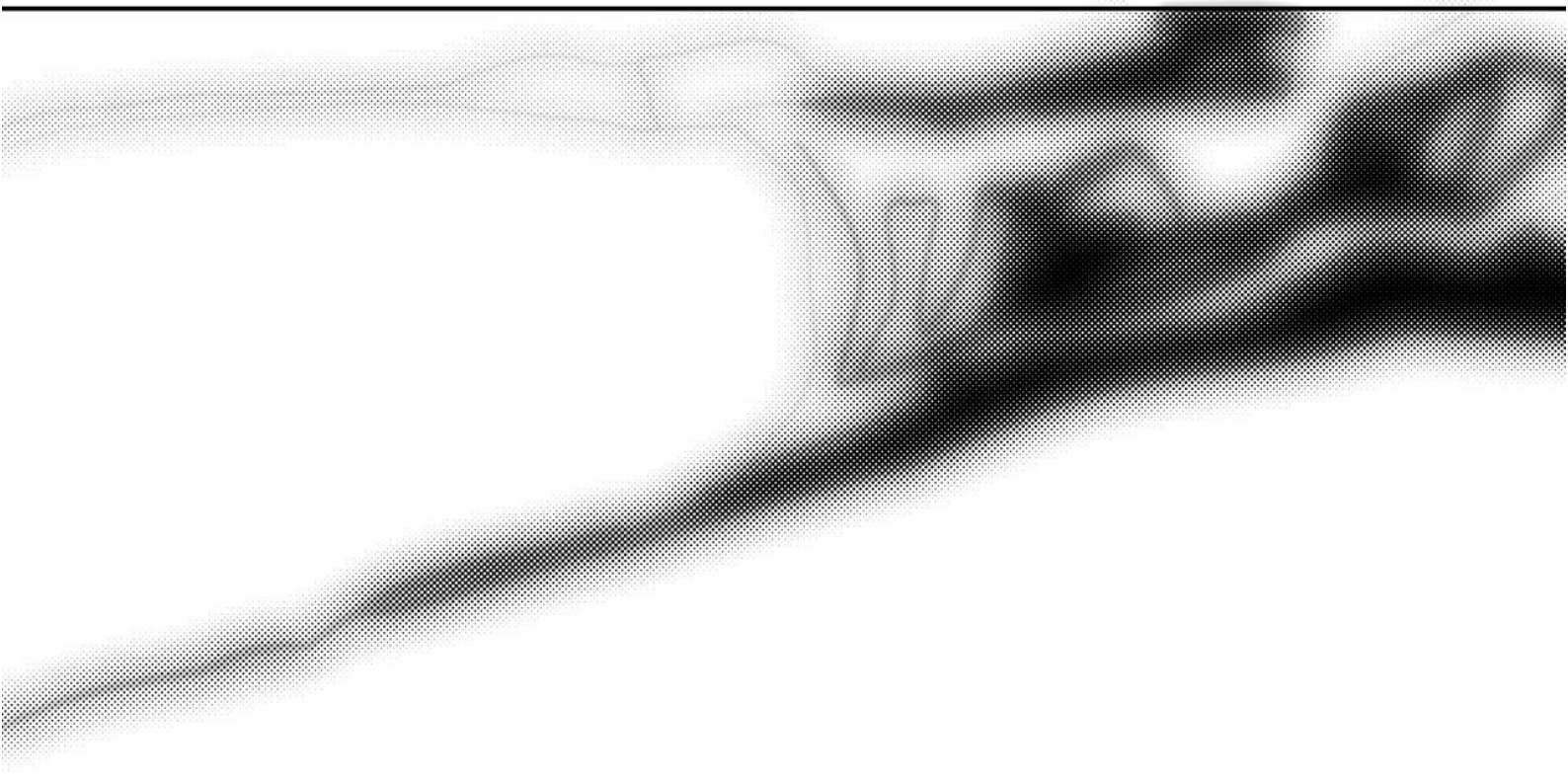
悪縁







亞双義  
一真



なん……だ

生きているな……

なんだ？

理由は  
分からないが  
墜落した  
みたいだ……  
馬車が

御者はもう  
死んでる  
みたい  
私たちは  
馬車の中に  
いたから  
この程度で  
済んだだろう



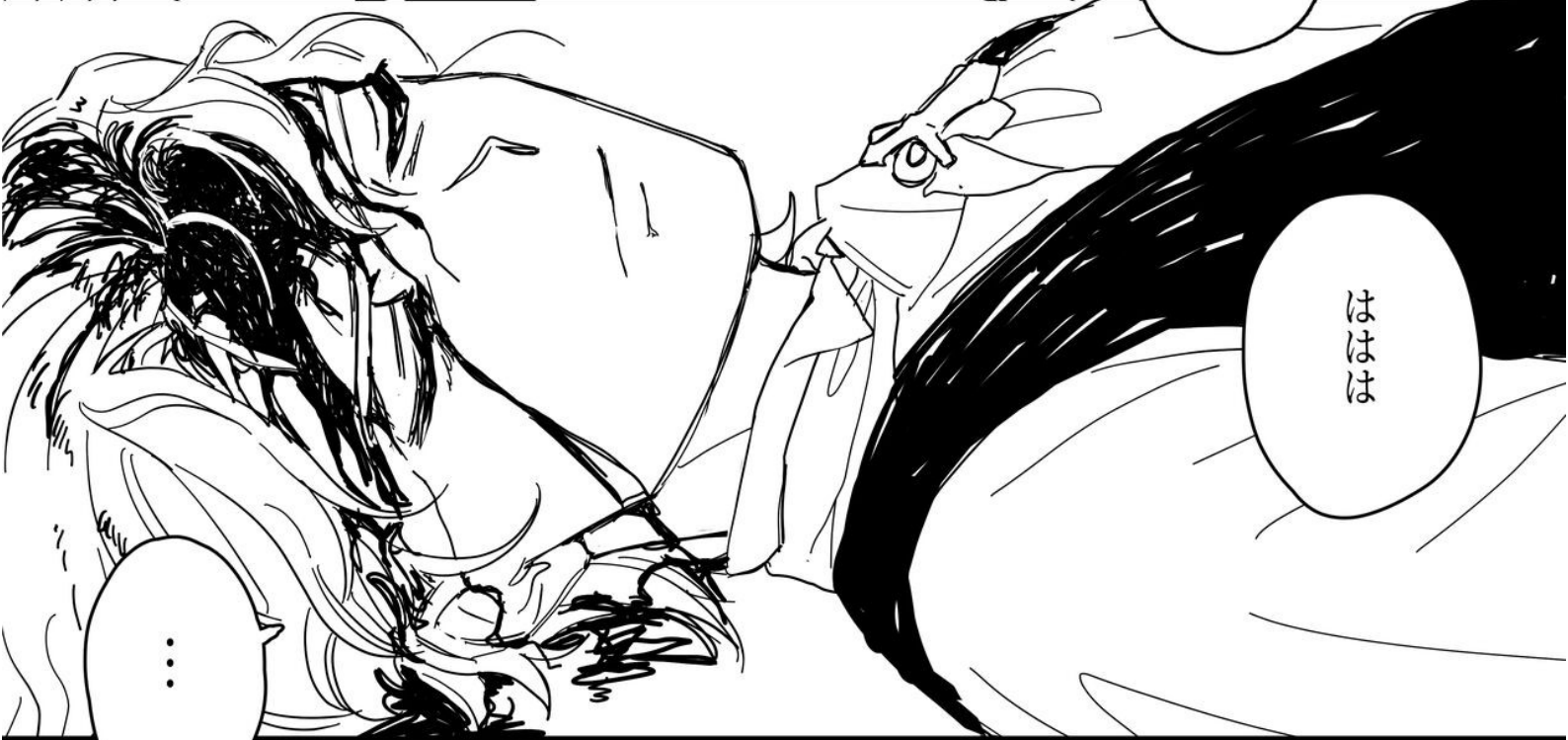
だが……



わあ、  
バンジークス卿

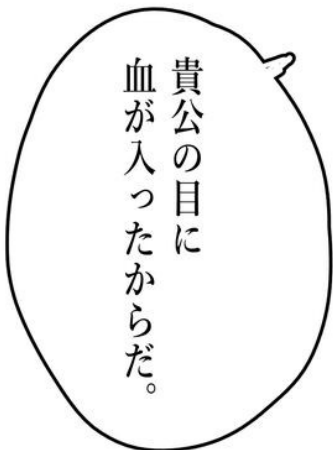
顔が真っ赤です

はは

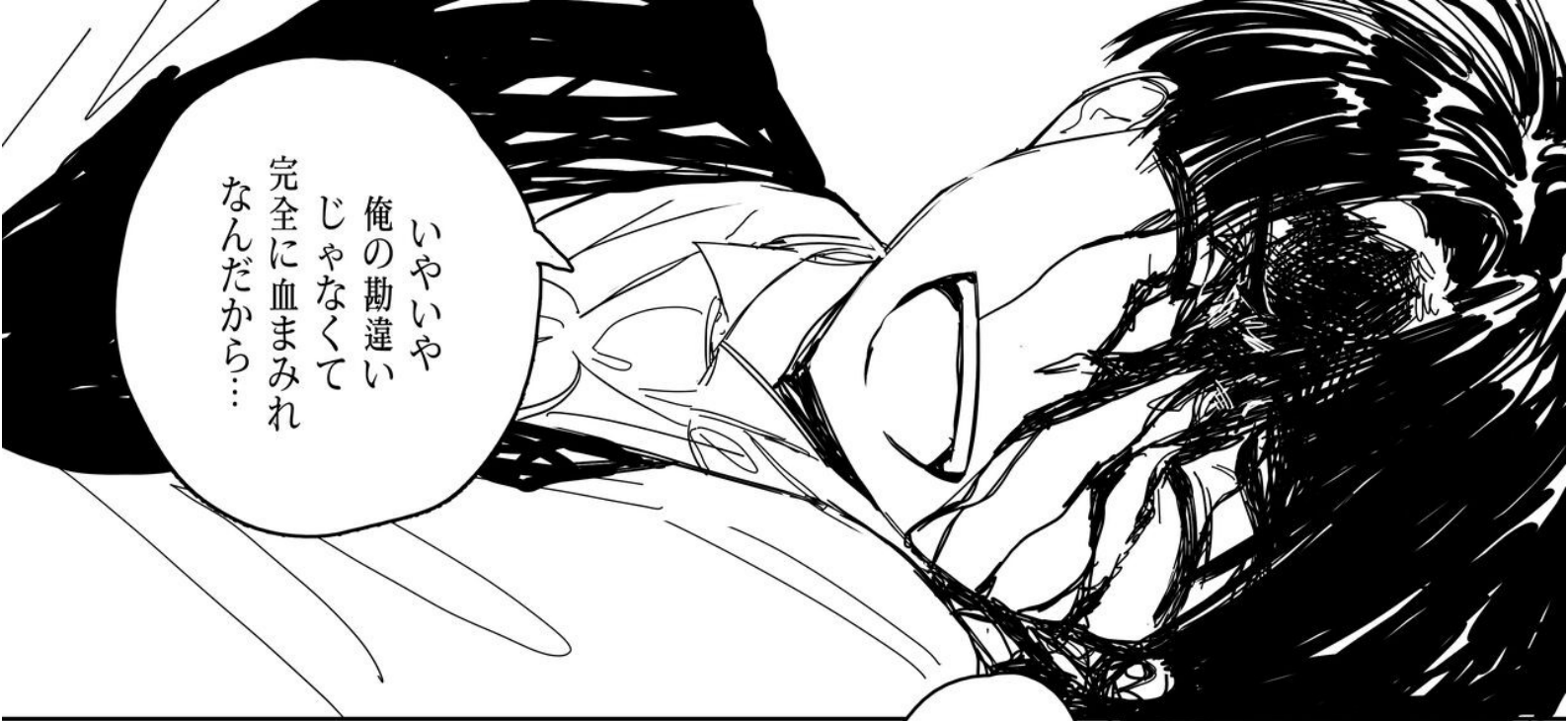


ははは

...



貴公の目に  
血が入ったからだ。



いやいや  
俺の勘違い  
じゃなくて  
完全に血まみれ  
なんだから…

ははは  
はは

こんな  
虚しい死を  
遂げるとは

英国最高の検事と  
言われる者と  
たった今  
過去の亡霊から  
逃れた者が

はははは



おい  
なんか言え…

おい



言え

言えつて  
言ってるん  
じゃんクソ

死んだか？



…生きてる

人が何か  
言ったら早速  
返事しろ…



全く…

俺は  
キサマと全然  
合わなかった

こうやって  
全ての誤解が  
解けた後でも  
私は貴方を  
敬遠しました…

甚だしくは  
記憶を失って  
貴方の教えを  
受けるため  
毎日のように顔を  
合わせた時も

俺に話しかける  
声がこう言った





この者は  
駄目だ

と…

後になって  
やっとその言葉の  
意味を分かる気が  
したが

初めて感じた  
ニユアンスがやっぱ  
正解だったのか…

そんな  
気もする





言っただろ

それでも  
許さないんだと

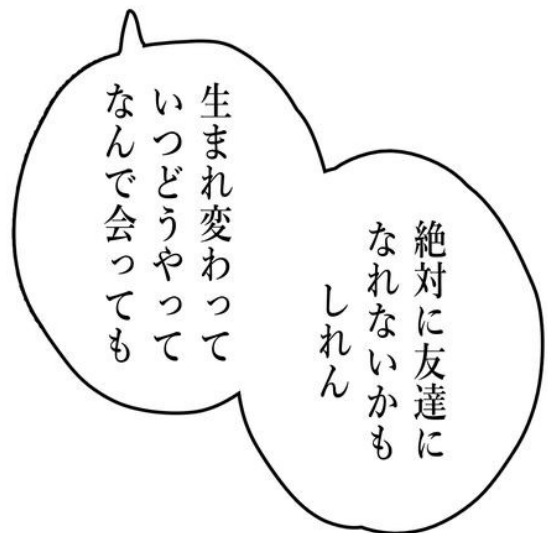
どうしよも  
ないくらい



私は貴方に  
馴染むことが  
できません…



貴公と私は  
初めからそういう  
運命かもしれない



生まれ変わって  
いつどうやって  
なんで会っても

絶対に友達に  
なれないかも  
しれん



生まれ変わる？  
運命？

そんなことを  
信じるんですか、  
バンジークス卿。



分からん…







同じ事故に  
巻き込まれたのに

命が終わる時まで  
すれ違ふとは

私たちは本当に

よくよく  
合わない

悪縁のようだ…

倫敦馬車墜落事故  
2名死亡、1名重傷（発見当時意識不明。）



# 成歩堂龍ノ介のΨ難

頑張れ！  
出来る  
出来る！！  
出来なかったら  
斬るぞ！！

何で？

# 4

うるΨ英国留学

## DaiGyakutenSaiban

なるほどりゅうのすけの  
さいなん

51		
52		
53		
54		
55		
56		
57	오호 4:59	
58		
59	업적:	
60	대가리만 극지 말고 말올라	1
61	오호 5:00	



오호 4:59

극지...



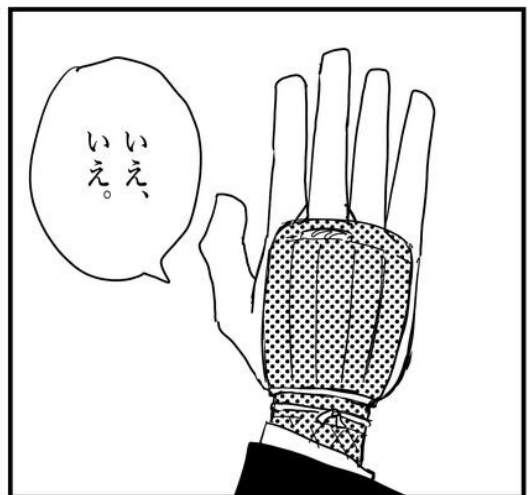
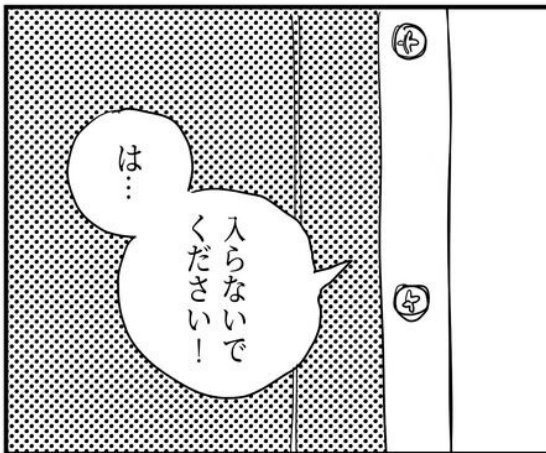
오호 5:00

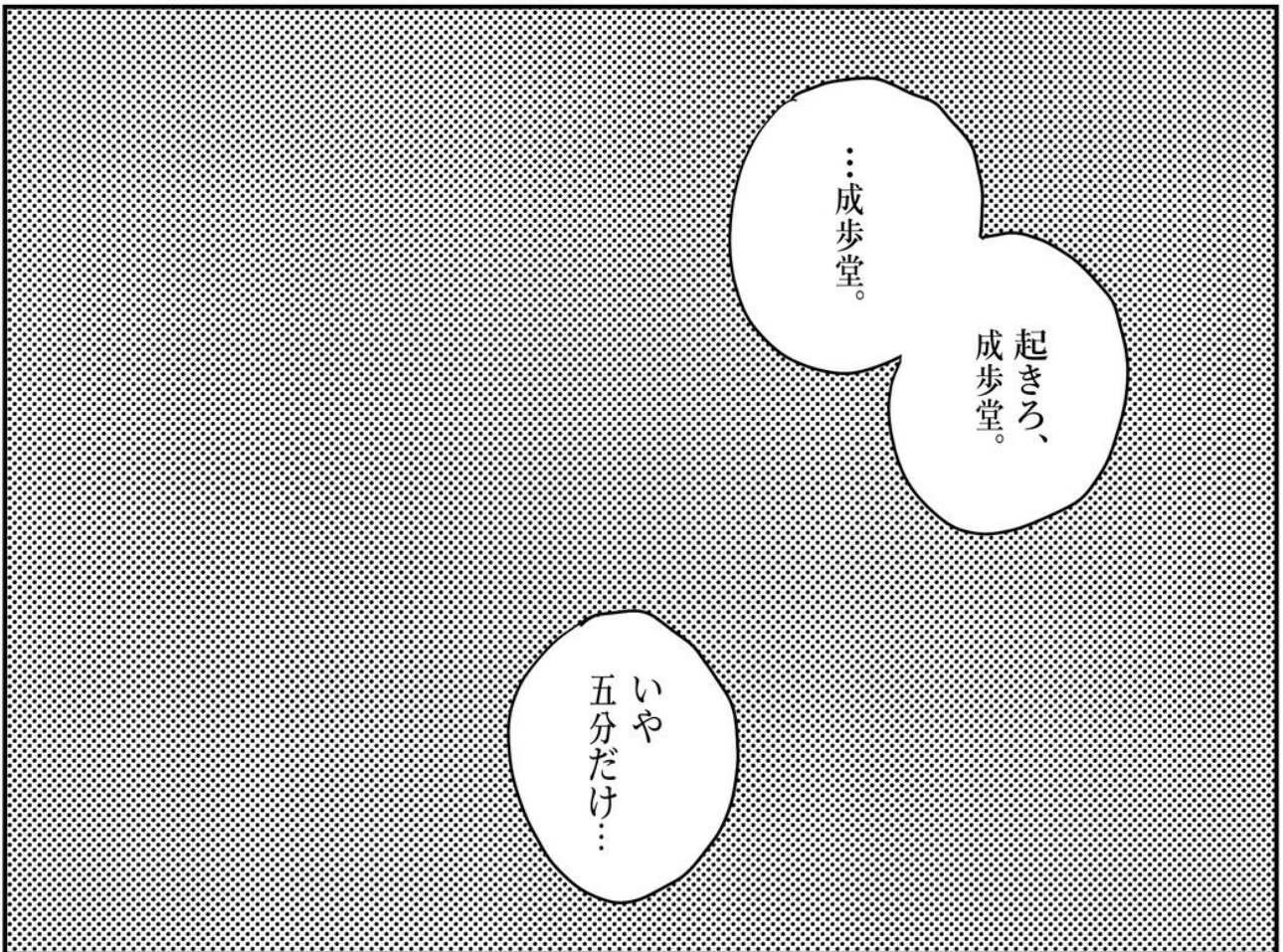
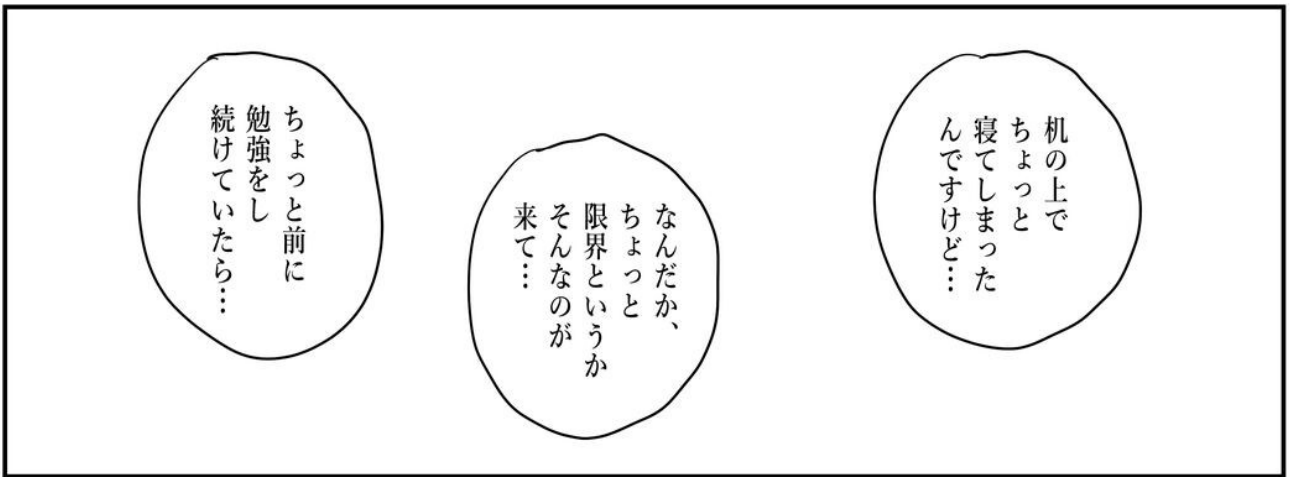
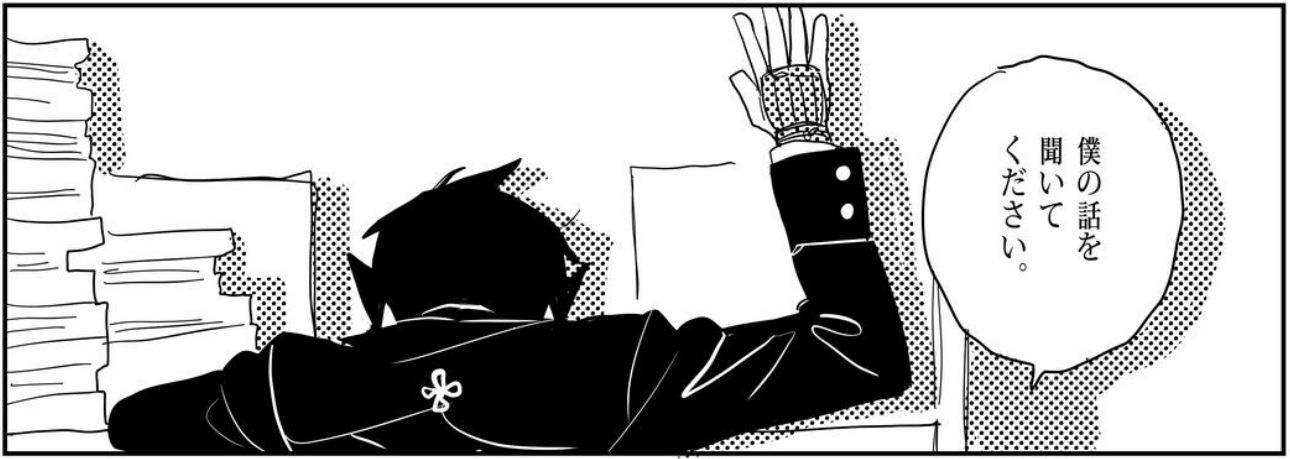


대가리만  
극지 말고  
말올라  
나극호로



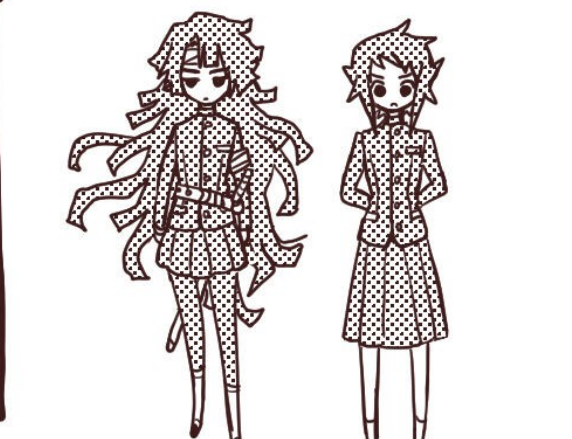
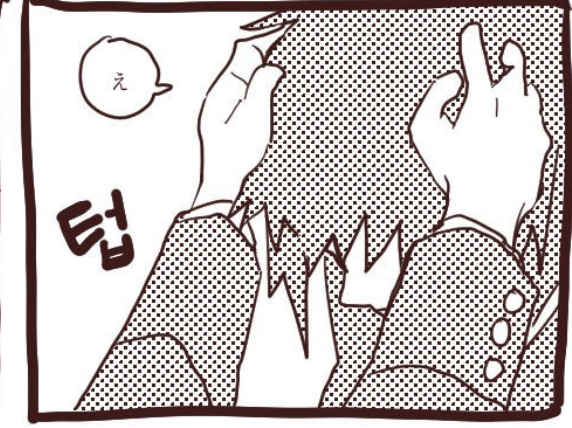












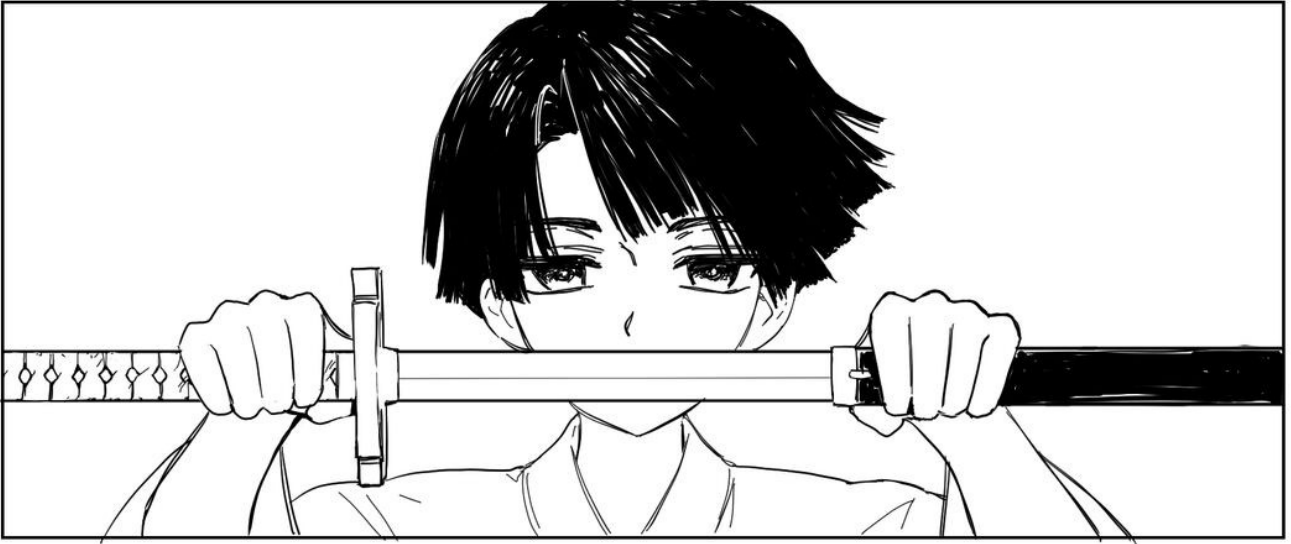






その年の冬には  
骨粉のような雪が降りました  
こんなにも体が冷えて耐えられないのは  
まだ完全に育っていない私の脛のせいでしょう





刀で手足の首を斬りたくなるたび父上がおっしゃっていました  
刃物はそんなところに使うものではないよ



ろうそくに手のひらを焼きたくなるたび母上がおっしゃっていました  
熱いものはそんなところに使うものではないよ

寝床にただ一人で横になっていると

両親はおっしゃいました





大英帝国に行け。





연하에  
힘쓰는  
마신기군



プレゼント交換



…なんですか、これは



コケだ



コケですね



コケだねー



なんでそんなのんびりした  
反応ですかみんな



いや大変だったよ。  
こんなにきれいに育ったコケ、  
見つかりにくいから



なぜそれまでしたんですか



でも見ていたらなんか  
ふわふわして可愛いです



でしょー名前も付けて  
よく面倒を見るように！



はああ…



ほお、綺麗なハンカチだね。



商店街を見ているとすごく質の良い  
ハンカチがあって買いました！  
私なりに刺繍してみたが…



え！サトちゃんが直接。知らなかった。



どの方に行くか分からないので  
名前を入れてなかったけど…  
もう主を探したからホームズ様の名前を  
入ることにします



あっ！なんかずるい。私の名前も！










え！それならば、ボクの名前も！










持ち主が誰か分からなくなるのだな…



-  わあ!かわいいハンドバックです。
-  気に入る?  
原稿の合間合間につくっていたよ。
-  締切もうすぐだったんじゃないの?  
すげえ…
-  あれにね□新技術を入ったの。  
中に他の次元に通じる通路があって  
積載量無限大!
-  もっとすごいものが出た…
-  ちなみにものを出すときはどうする?
-  …それは考えてなかった



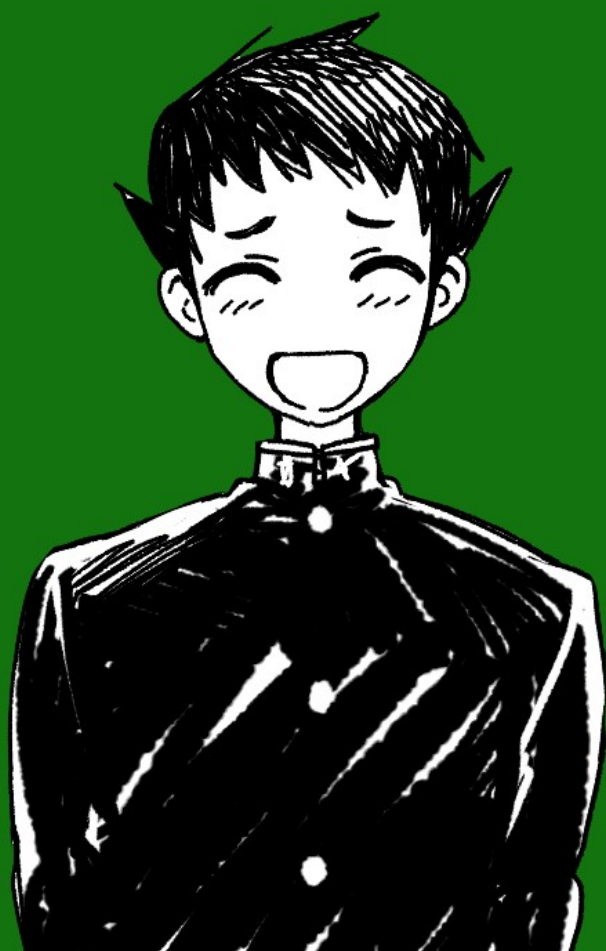
-  なんか一言でも言ってくださいみんな
-  ごめんごめん、とても意味不明だから
-  いや聞いてよアイリスちゃん。  
これはボクが道で偶然拾ったものだけど…  
普段小銭ってゆうのはこんなに  
くちやくちやになるんじゃないでしょ?  
なんか分からないけどすごいことに  
会ったとしか考えられない…そう思っ  
てお守りとして持ってきたから。
-  相変わらず意味不明でセンス悪いねー
-  コケより劣るな。
-  こっちには縁がない方ですから
-  ここまで聞くべきですかこれ

コケて  
どうやって  
育ては  
いいの  
か  
...

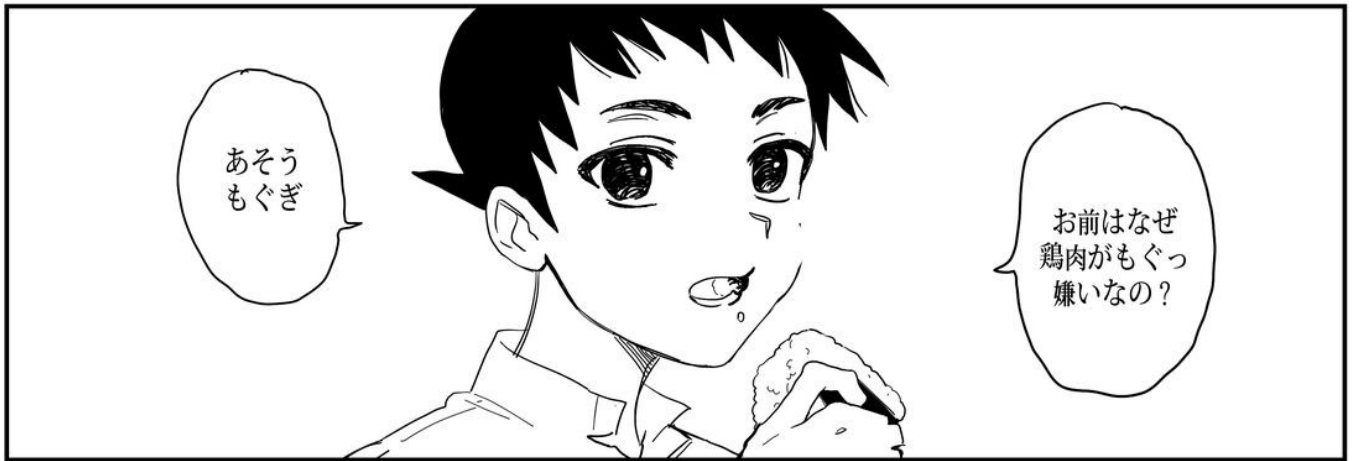




Happy Valentine's...









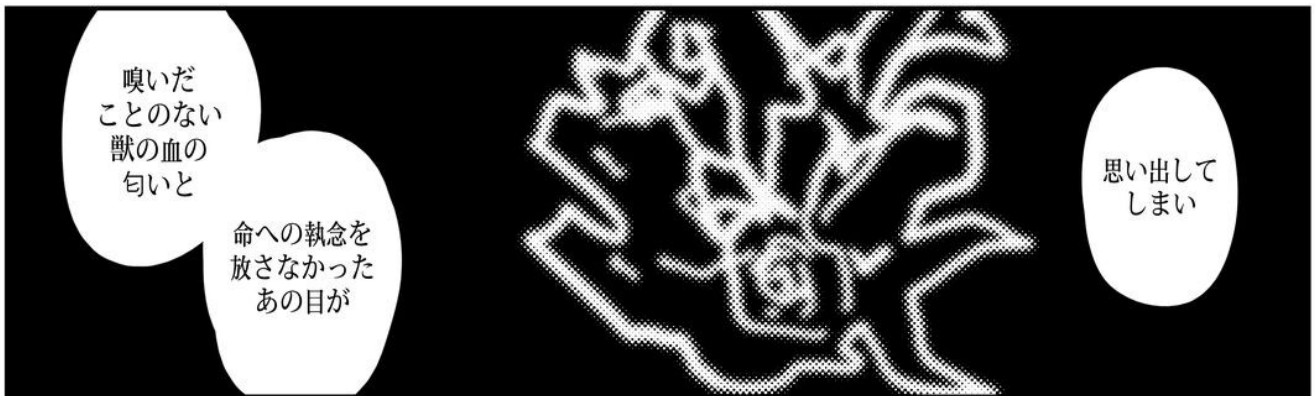
偶然に鶏を  
屠殺するのを  
みたことが  
ある。



羽をへねって  
すぐ首を  
切り裂くと

血が  
溢れ出た。

それは…  
怖かった  
よね



それが  
この世界の  
理って  
あるものだ

でも  
そんな思いを  
するのは  
当然のことさ

だから  
オレたちは  
いつも感謝  
しながら  
生きるべきだ

一真。

父上の  
話を頭では  
理解したが

鶏肉は  
もちろん

他の肉まで  
しばらく  
口にするのが  
ダメだったが…

牛鍋は  
耐えることが  
できなかった…

それは確かに  
たえられない  
よね…

それで再び  
肉を食べることは  
できるようにな  
ったが鶏肉は  
まだちょっと…

ってこと？

簡単に言えば  
そうなる。  
まだその記憶に  
捕まえているっ  
てことか

とにかく  
鶏肉だけは  
絶対食べない。

もし  
食べることが  
あったら  
キサマが思う存分  
食べ

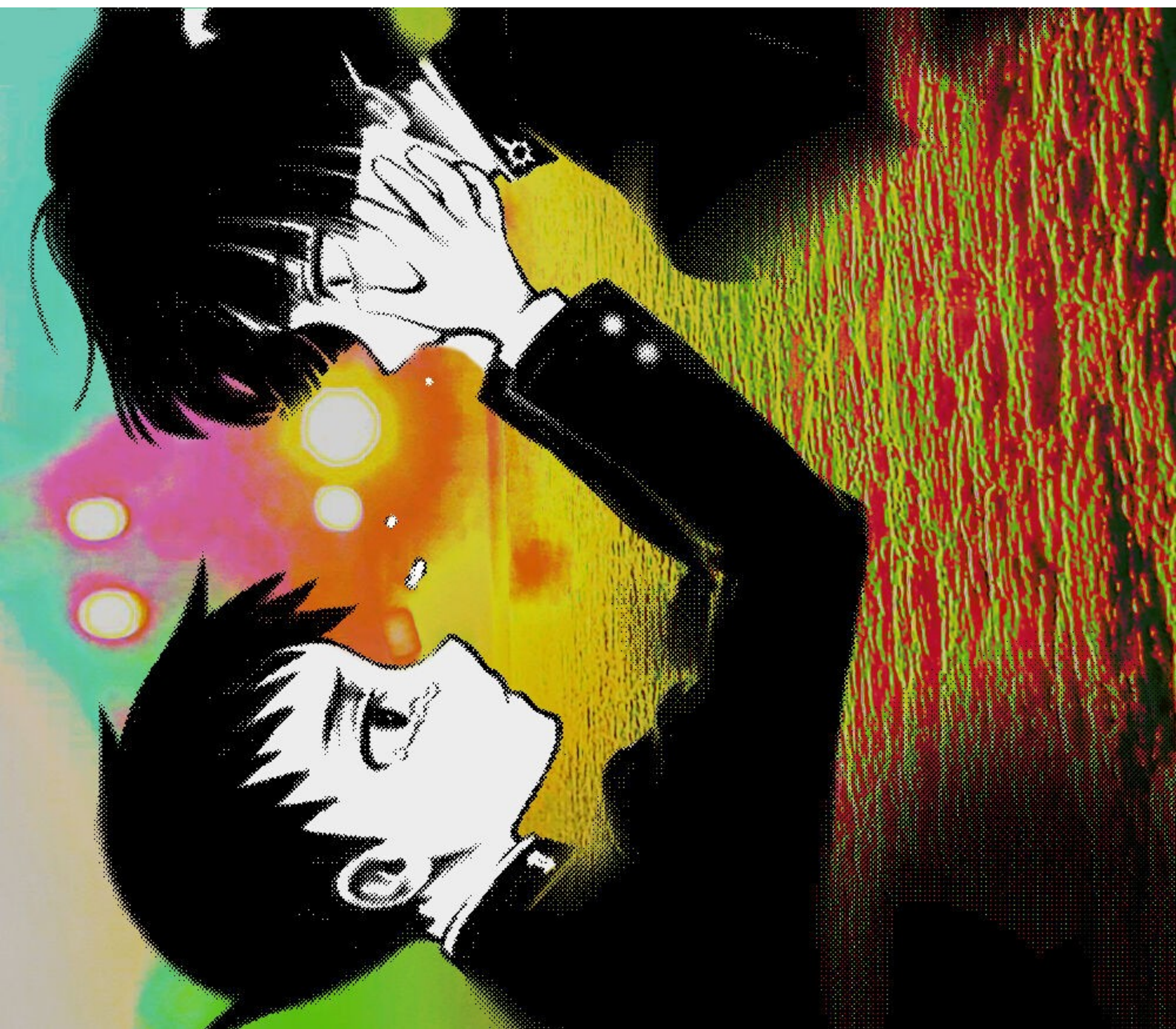
分かりました…



*Pink Floyd - Wish you were here*













知りて  
来たぞ



えつまじ?!

午後2時精神科で  
偶然の出会い!

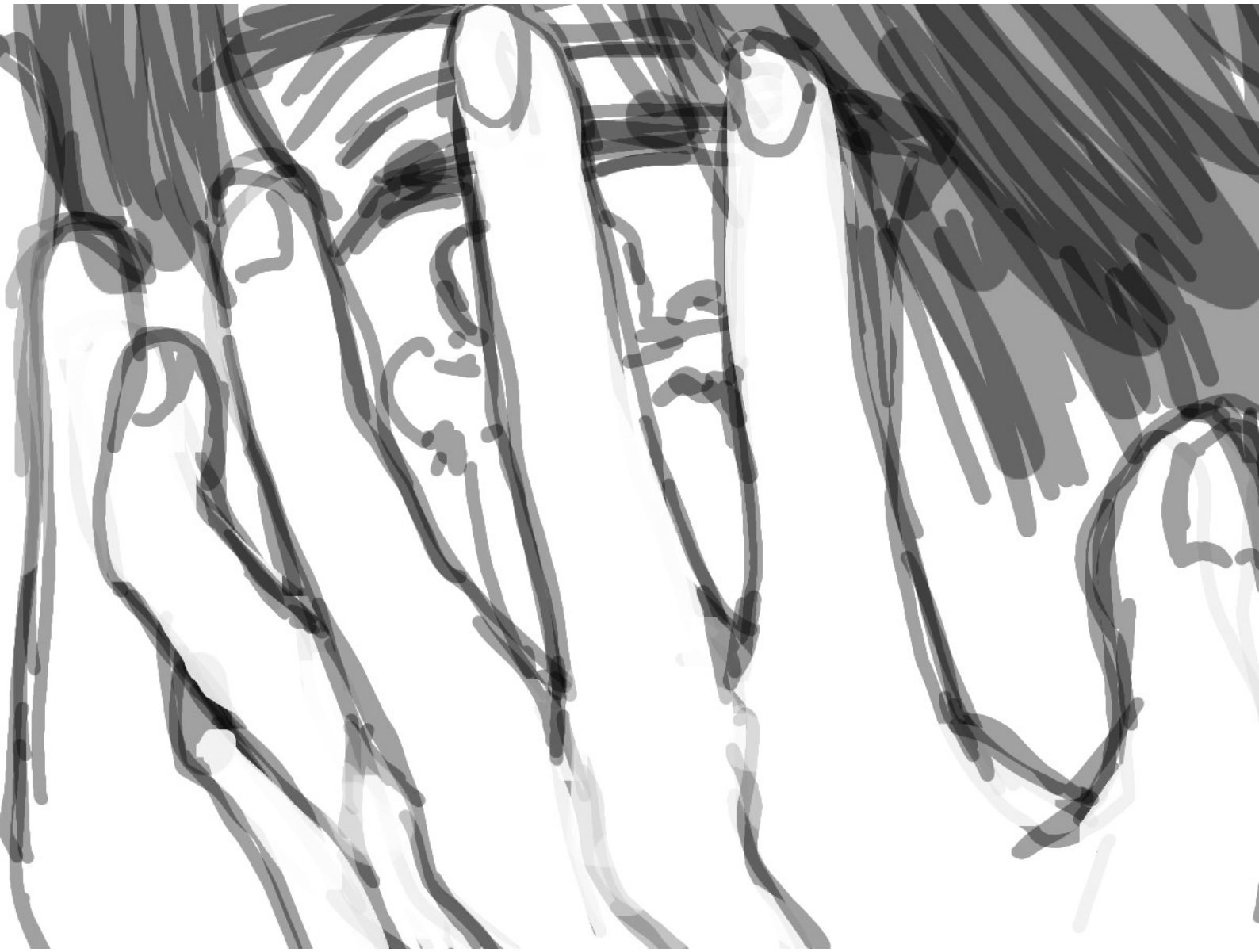
66

99

気まずくて  
吐きそう...

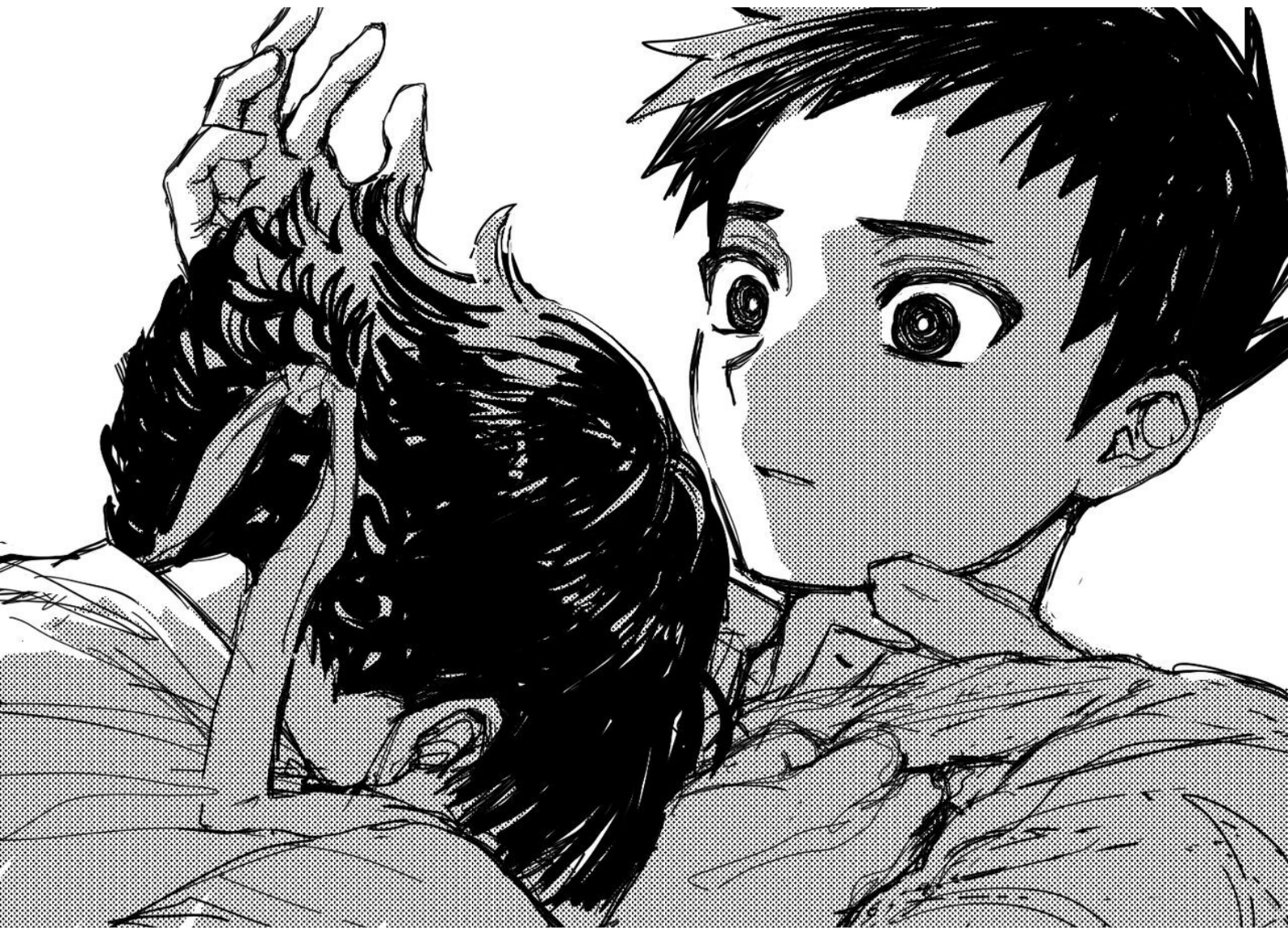
↑  
アインの  
体当たり

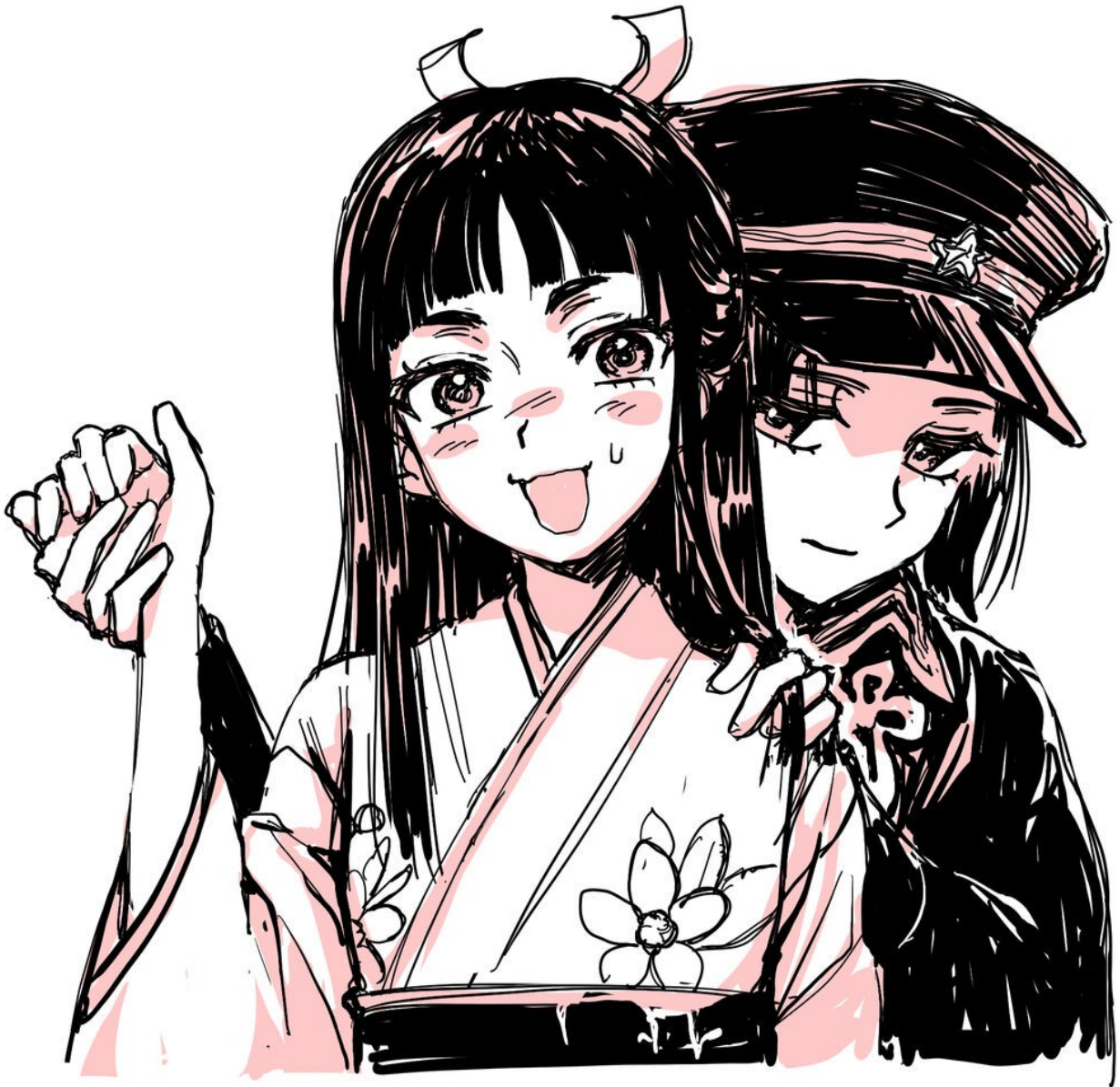
友達さんじゃない死ね

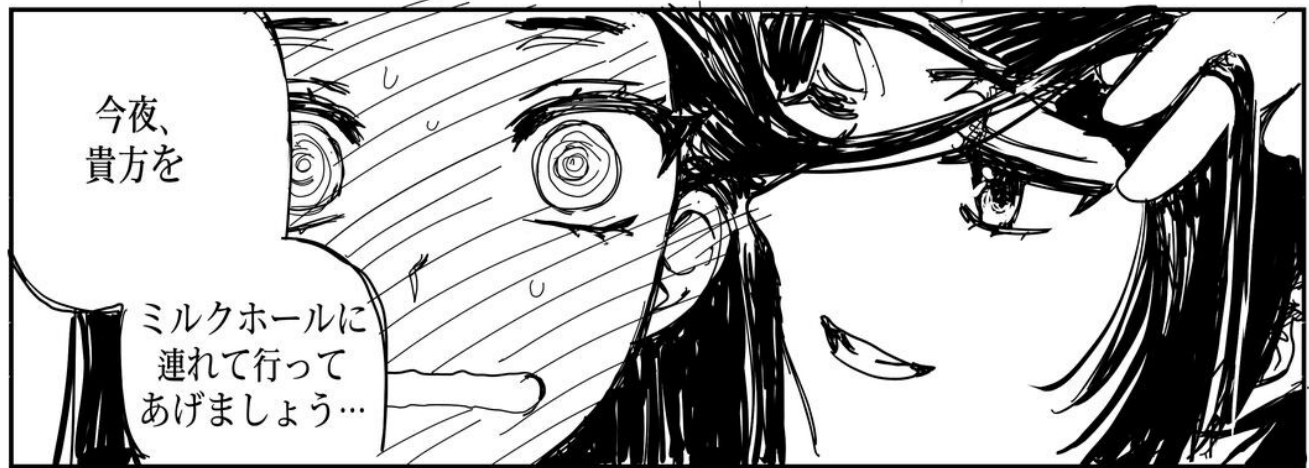












そりゃ私はスサトちゃんとずっと友達でいたいんだもん。





むこうはどんな所なんだろうね？  
無事に着いたら 便りでも欲しいよ

扉を開いて 彼方へと向かうあなたへ  
この歌声と祈りが 届けばいいなま

雲ひとつないような 抜けるほど晴天の今日は  
悲しいくらいに お別れ日和で

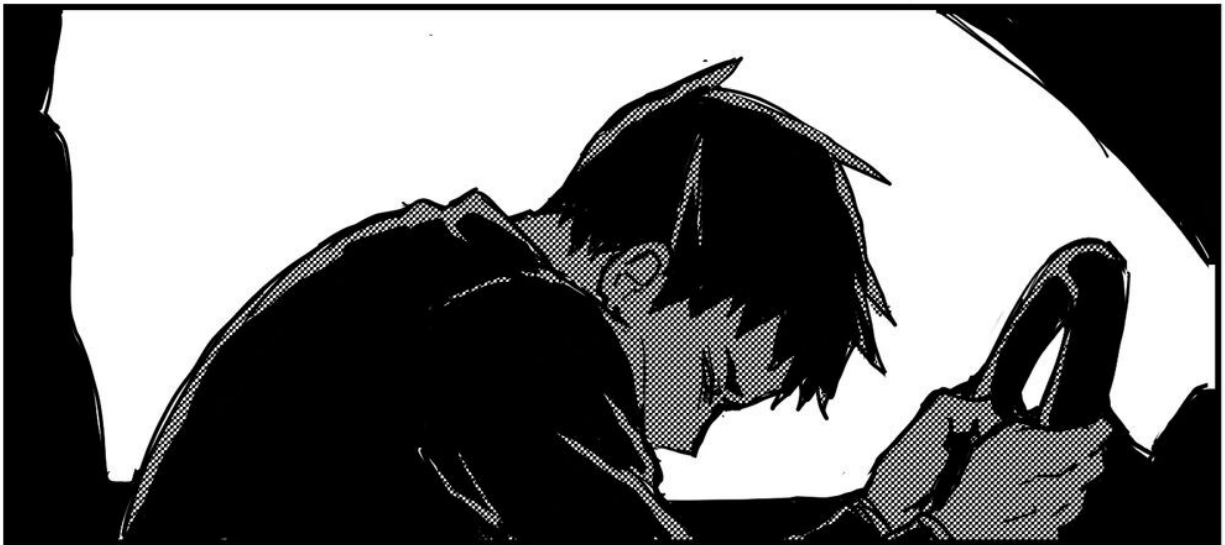
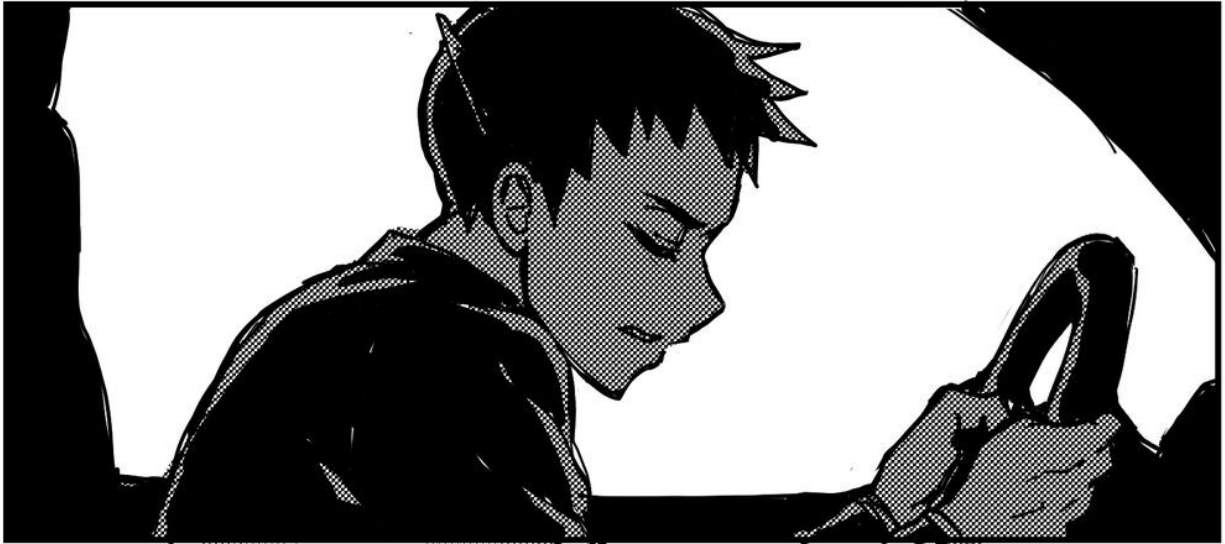
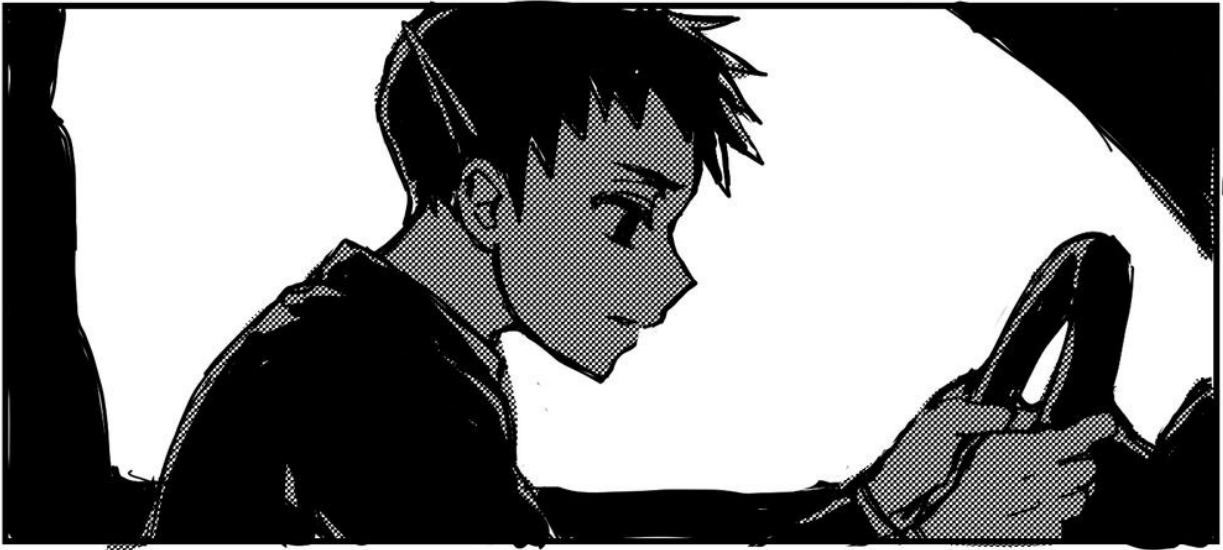
ありふれた人生を 紅く色付ける様な  
たおやかな恋でした たおやかな恋でした  
さよなら

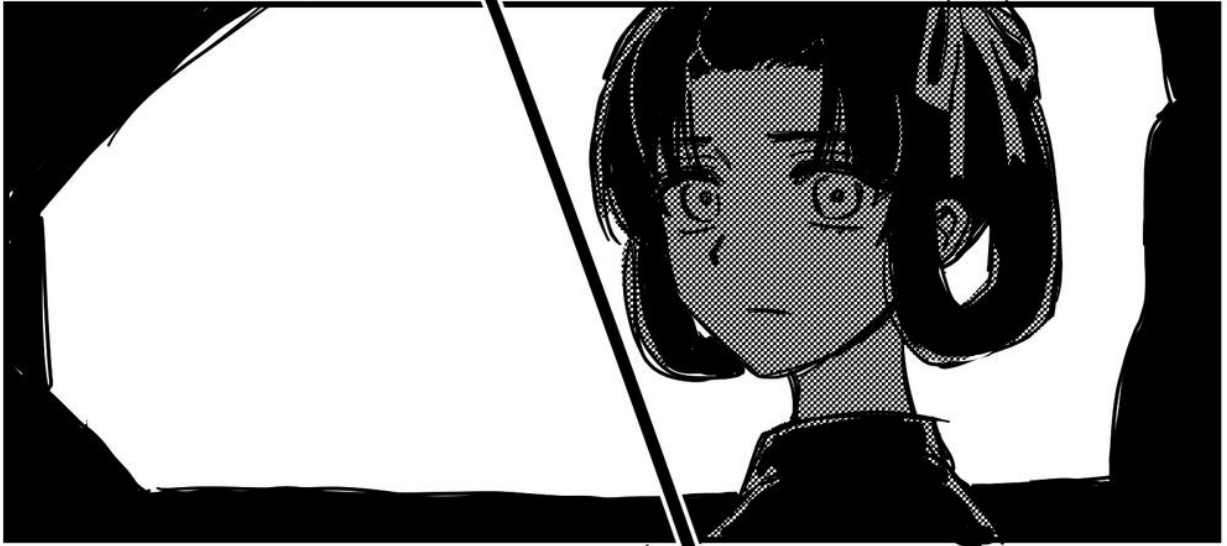
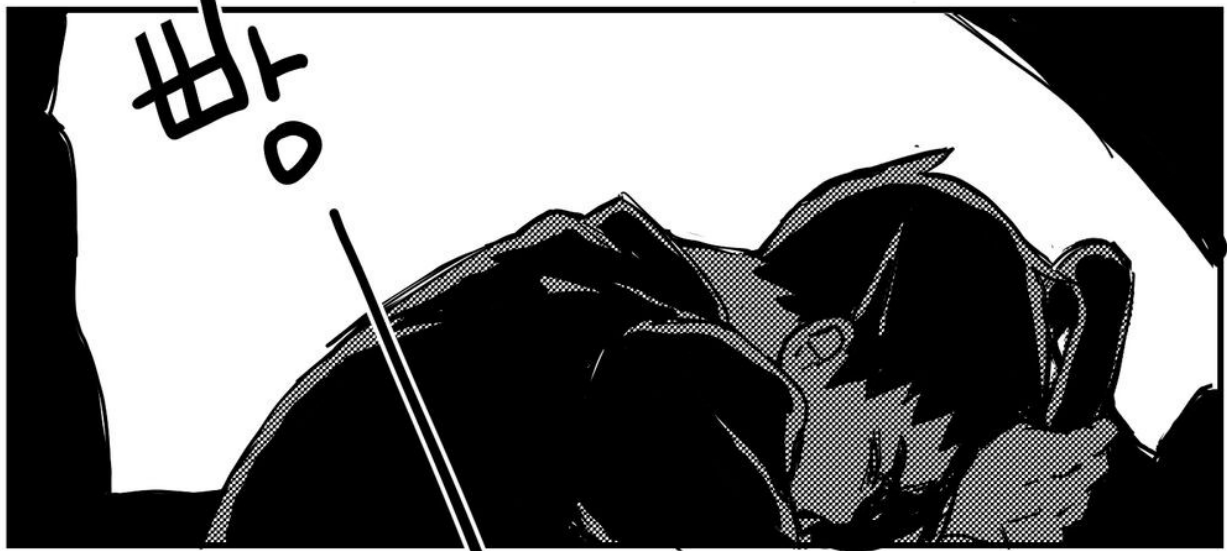
またいつの日にか 出会えると信じられたら  
これからの日々も 変わらずやり過ごせるね

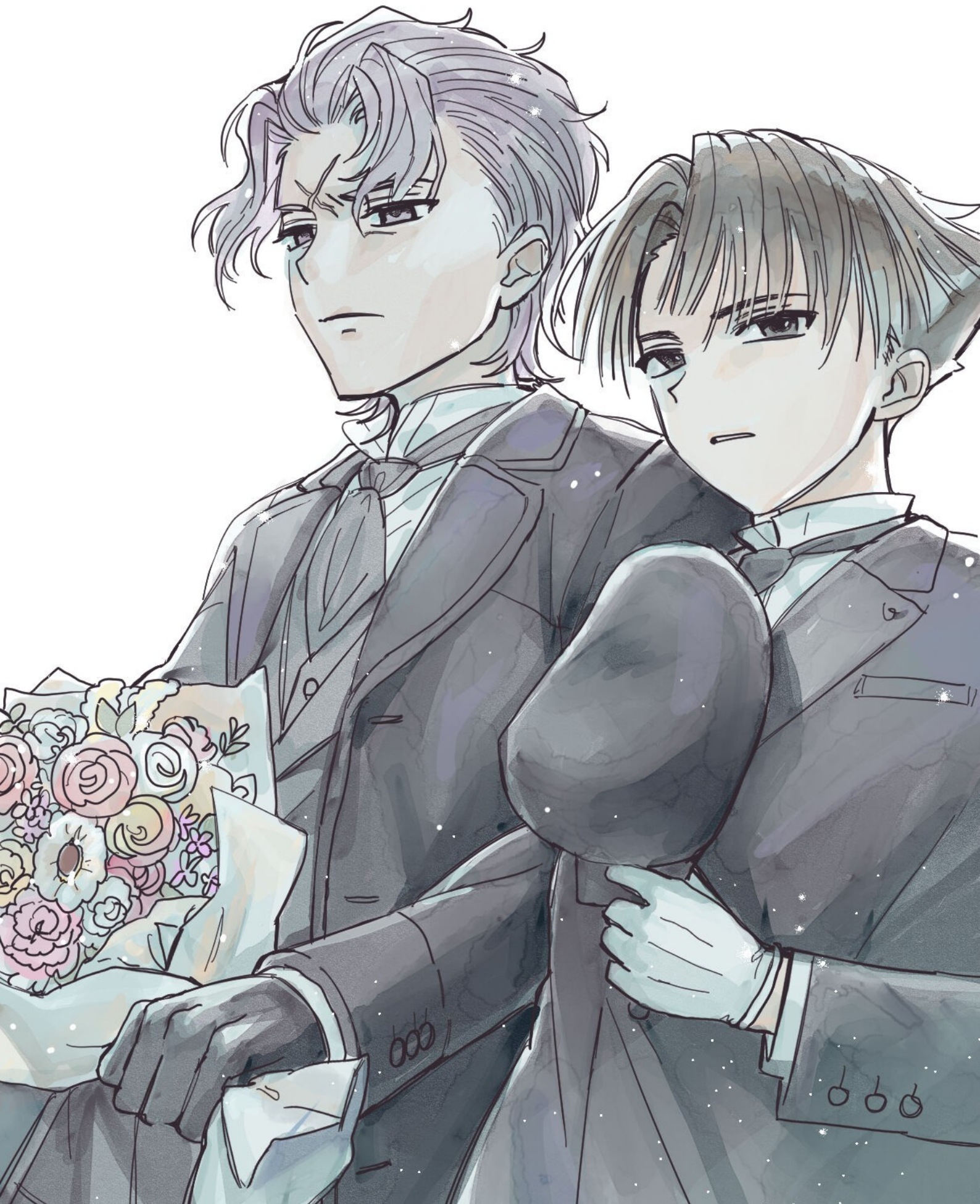
扉が閉まれば このまま離ればなれだ  
あなたの煙は 雲となり雨になるよ

ありふれた人生を 紅く色付ける様な  
たおやかな恋でした たおやかな恋でした  
さよなら

















じ

星

流

の

に

願

い

っ

を

私

よ

え

消

ろ

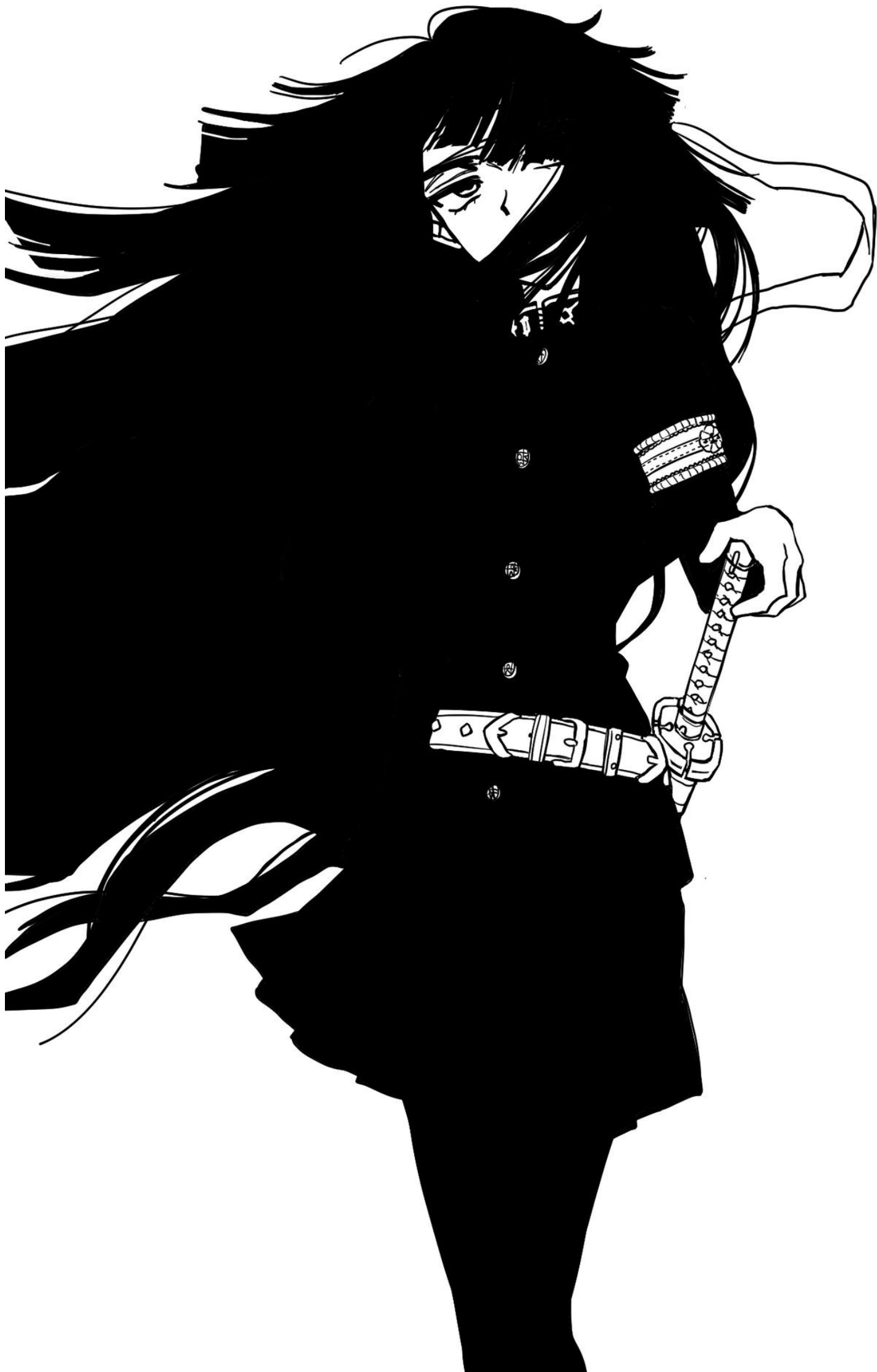




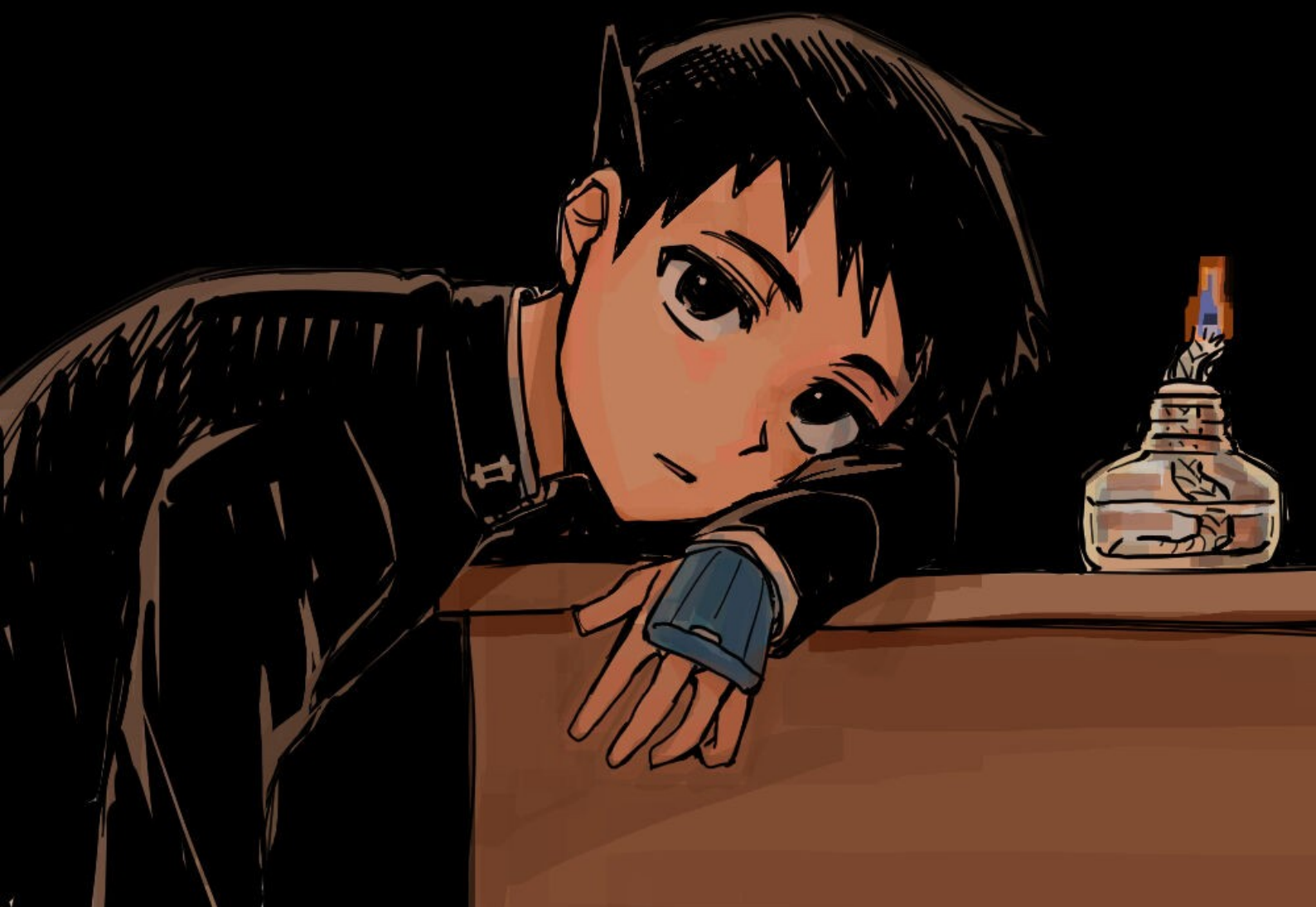








去年の夏僕たちがお互いケラケラした時間はどこへいったのか

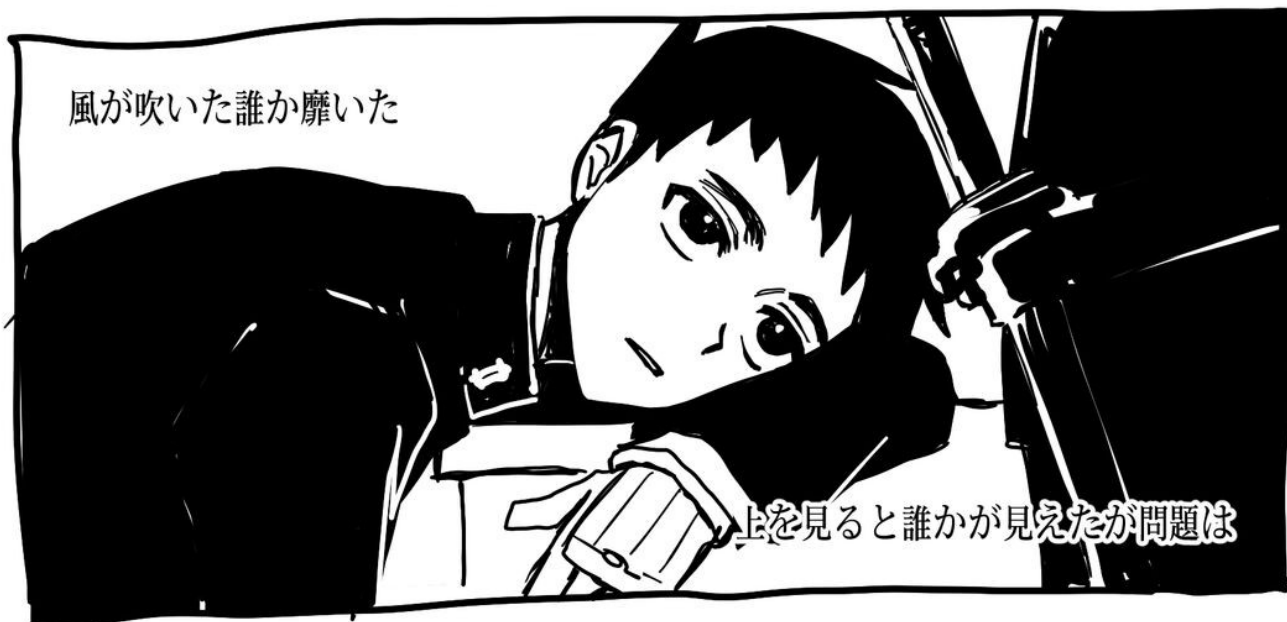


ボクは教室にいた確かに顔を机にくっつけて



そうやってじっとしていた

風が吹いた誰か靡いた



上を見ると誰かが見えたが問題は

キミが誰か思い出さないことだった  
確かにどこかで会ったけど



すると君は言った

思い出さ  
なくても良い  
どうせここには  
オレたちしか  
ないから

思い出さ  
ない方が  
楽で良い

その言葉で僕は安心した  
いつか足首まで水が満ちていたが  
ぬるめの湿った感じが気持ちよかった





반역스  
.....!

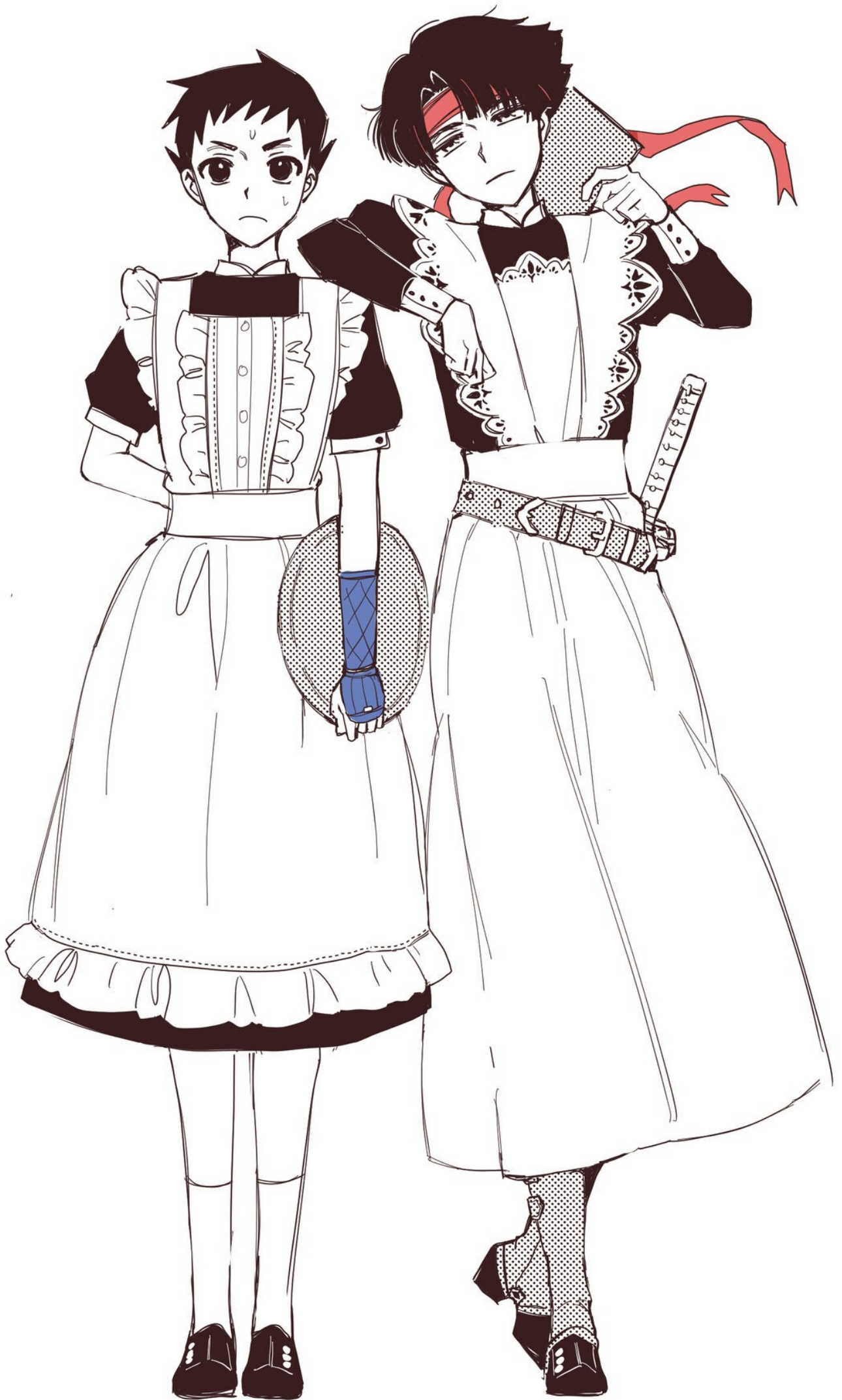


2인. 매 다시보다가  
상처(3)가 깊었다면  
반역스 그 표정이  
너무멋져서  
20억생이  
3년동안 웃음하니까  
제발...



以外に  
just danceが上手いバンジークス







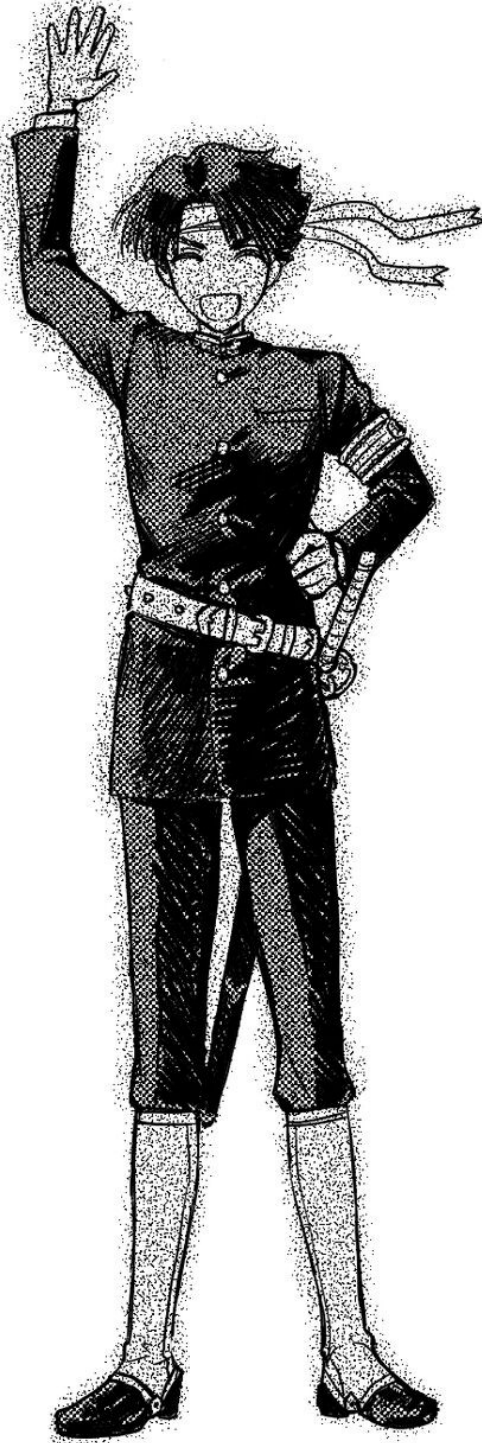


「念仏を繰り返すことね」  
「念仏を繰り返すことね」  
「念仏を繰り返すことね」  
「念仏を繰り返すことね」

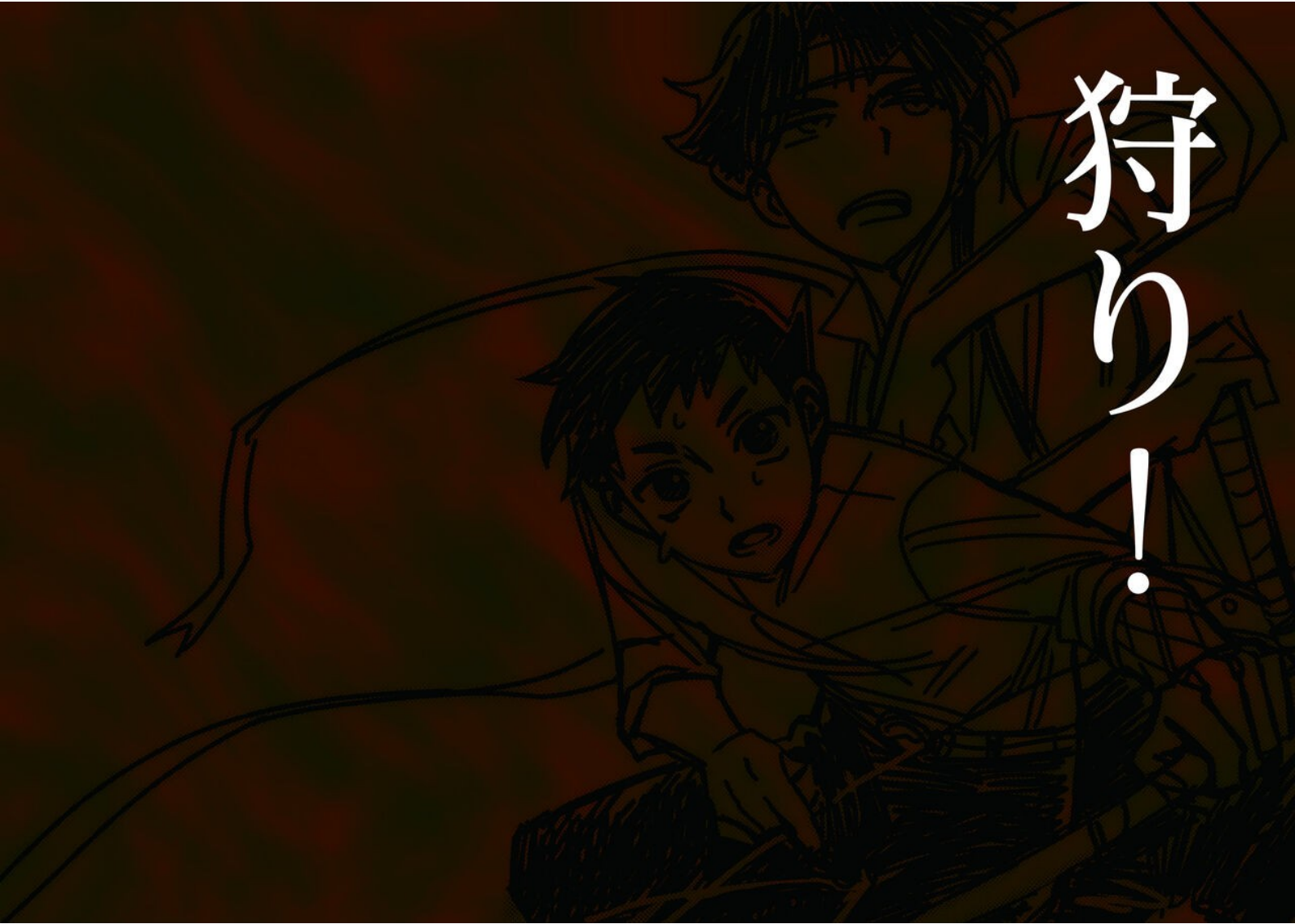




また会おう！



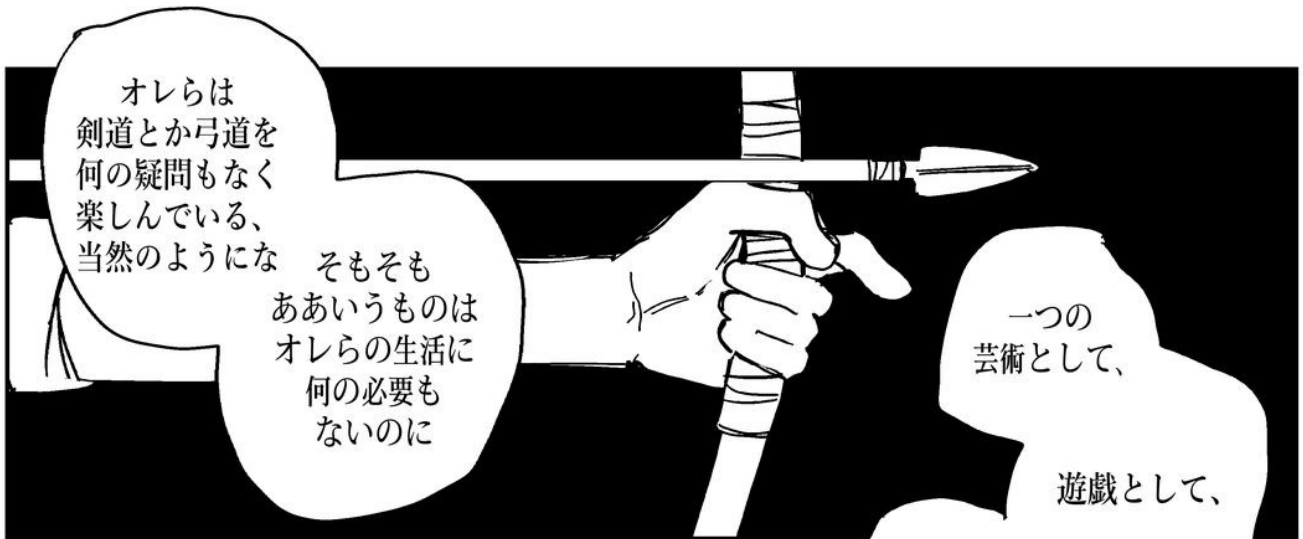
狩り！



卷



あいつは、突然僕に言い出した。



オレらは  
剣道とか弓道を  
何の疑問もなく  
楽しんでいる、  
当然のようにな

そもそも  
ああいうものは  
オレらの生活に  
何の必要も  
ないのに

一つの  
芸術として、

遊戯として、

そうやって  
絶えずに  
続けたのは  
たった一つの  
ためだ



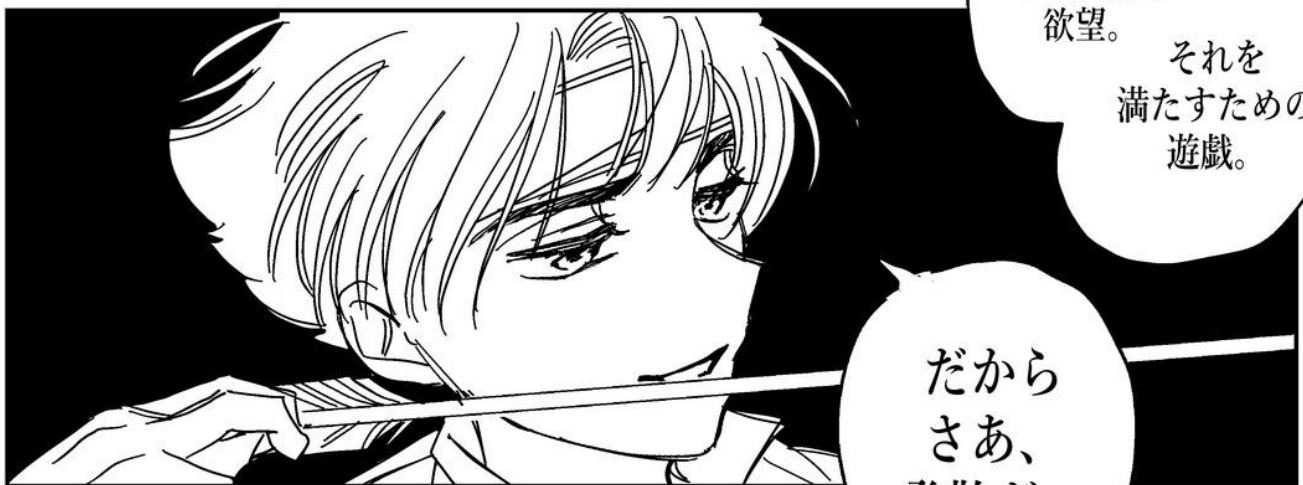
人間は、  
全ての  
生物は、

他の生き物を  
狩りたい欲望が  
底に潜在して  
あるからだ

他の者の  
血と肉を取って  
自分のものに  
したいと  
思うからだ。

隠せない  
本能、  
単純明快な  
欲望。

それを  
満たすための  
遊戯。



だから  
さあ、  
発散だ、

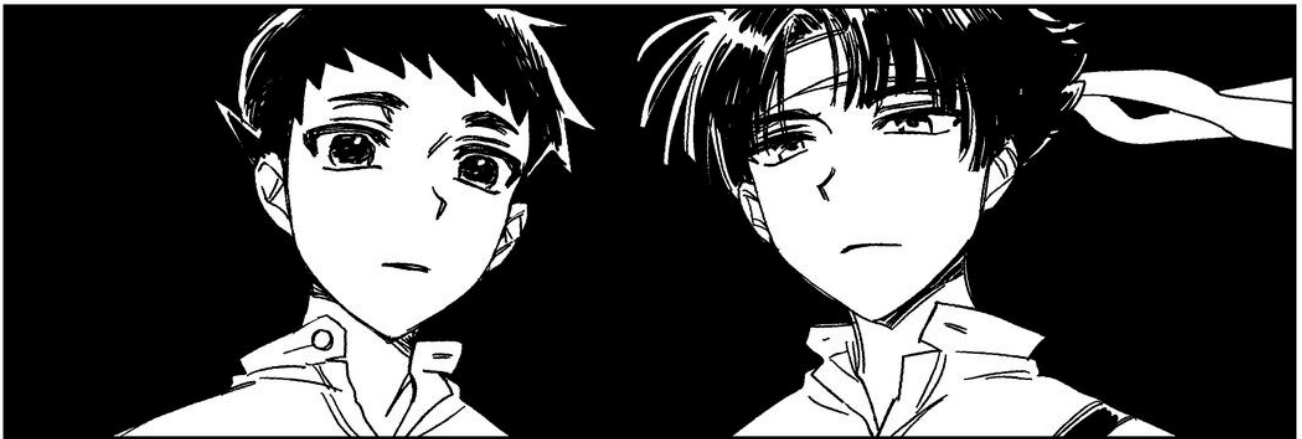


狩りだ、

成歩堂、

狩り！

弌









…僕は  
一度には

で、

きないと  
思う…



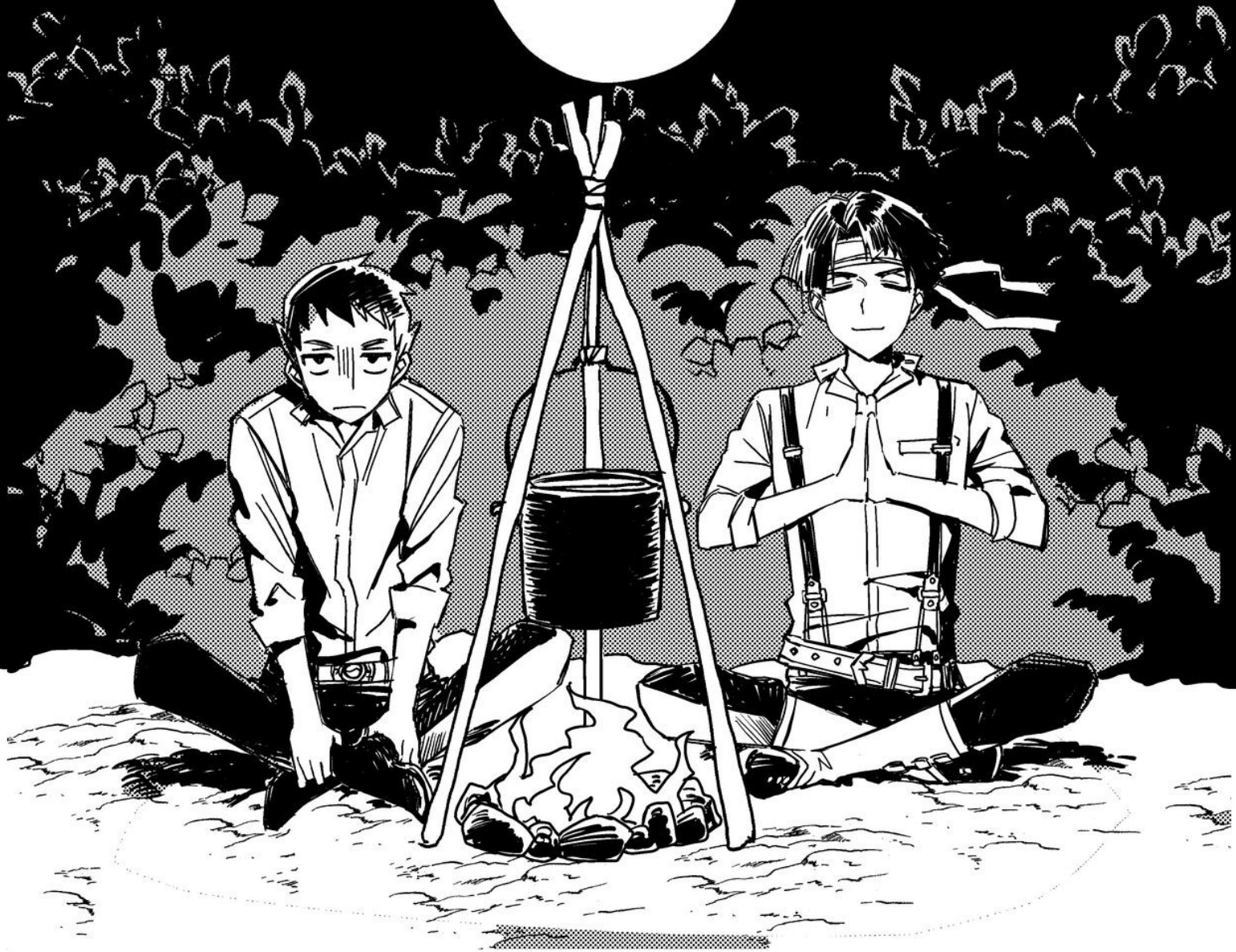
仕方ない。



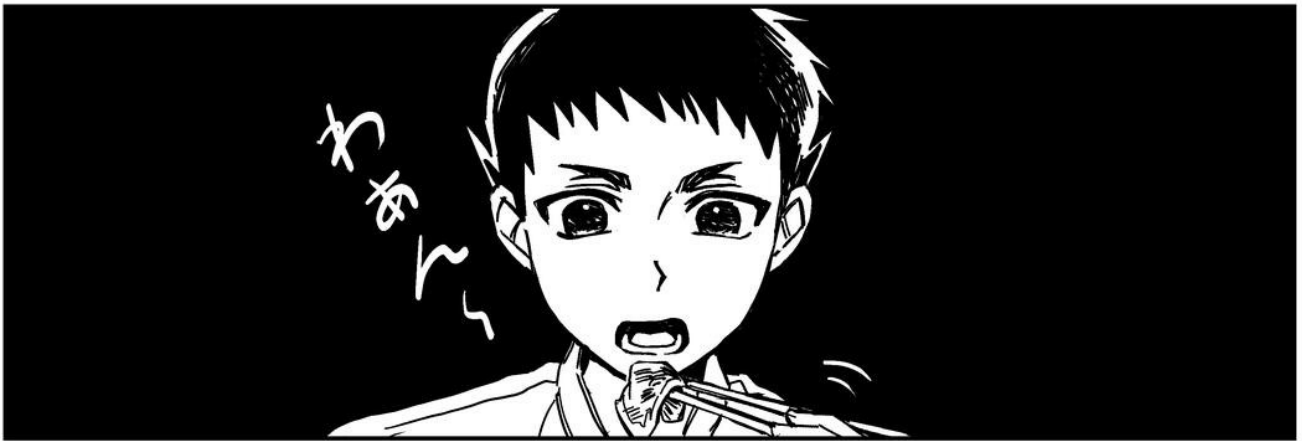
参

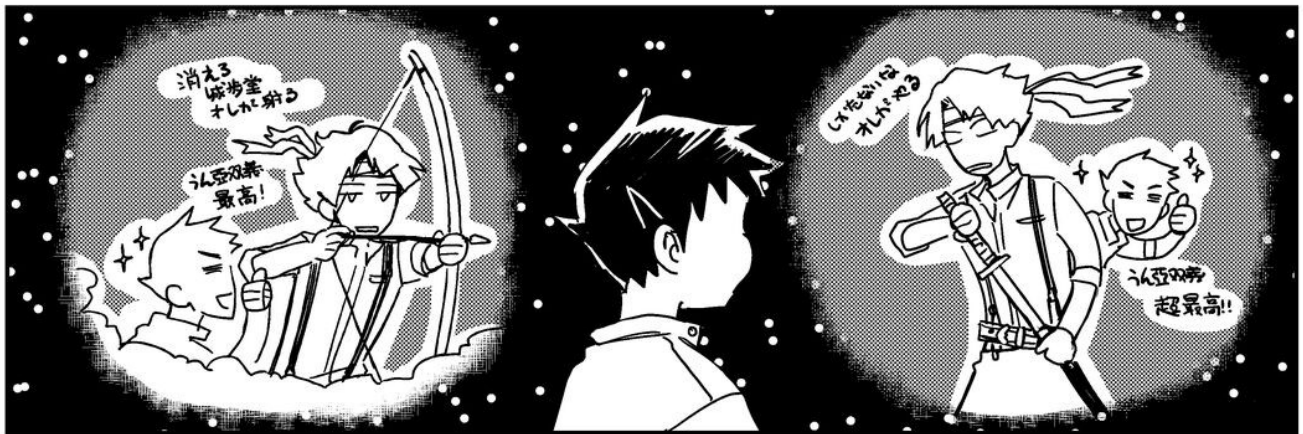


いただきます。











これでは  
連れて来た  
意味が  
ないな。

?  
意味?  
何かの  
解消とか?



いや...

...  
いいだろう



とにかく  
思う存分  
食え

簡単に  
食べられない  
ものだから

ううん...

肆

考えてみれば  
本当に何も  
考えずに  
やってたな

剣道も  
弓道も

ただ標的の  
真ん中を  
狙うことに  
夢中で

どこから  
始まったのか  
考えたことも  
ない

多分皆  
同じだ

そう  
いえば...

え

オレが  
いつも  
持っている  
この刀。

う？

この刀の  
名にも  
狩りの意味が  
入っている

狩りの狩、  
魔が差すの魔

狩魔。

あ

今のなに...？

その...  
ま... 魔を  
狩るって  
意味だな

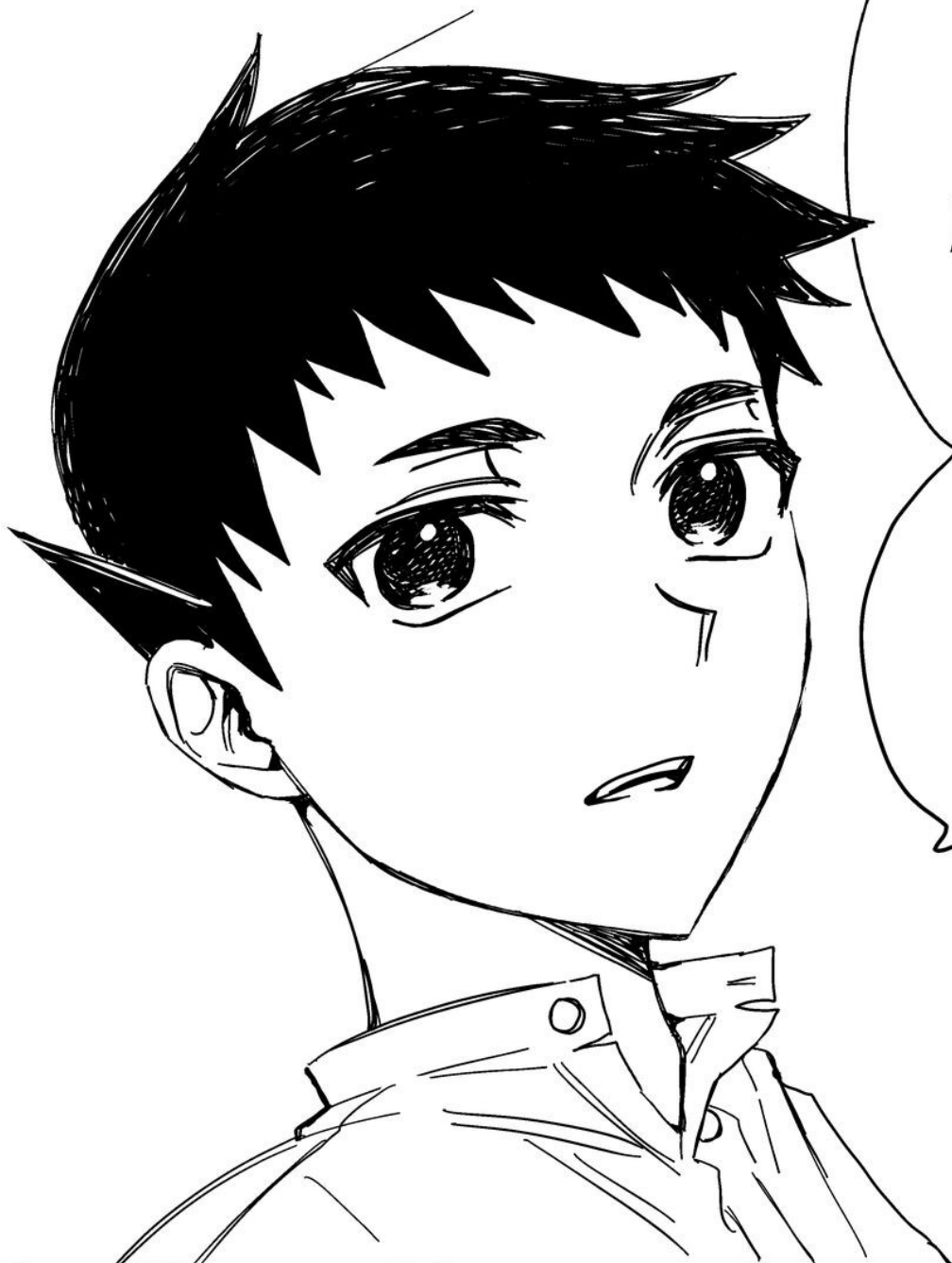
そう！



そう  
言っただろ？

狩りは  
僕らの中にある  
欲望だと…

誰かの血と肉を  
僕らの物に  
したいからだ…



それなら  
魔を狩るって  
ことは

結局魔が  
僕らの一部に  
なるって  
ことだろう。



なんか  
それ…

怖いん  
じゃない？  
と思ってさ

そうじゃ  
ない？





亜双義?



...少し  
少し  
歩いてくる



え?  
いきなり?

食後には  
体が重くなるから  
散歩しなければ

まだ少し  
残っている  
のに?

大丈夫  
キサマは  
連れて  
来なくても  
いいから

...

道に  
迷わない  
ようにな!

オレが  
キサマだと  
思うか。

伍

うえっ

ううっ

けっ

けほっ

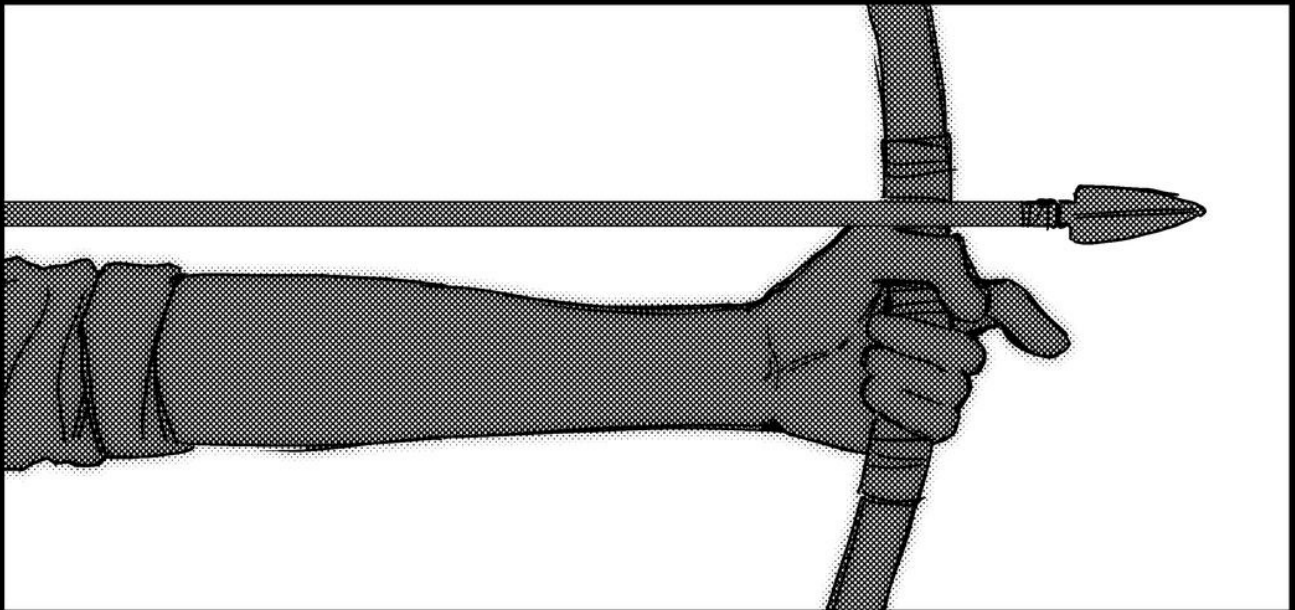


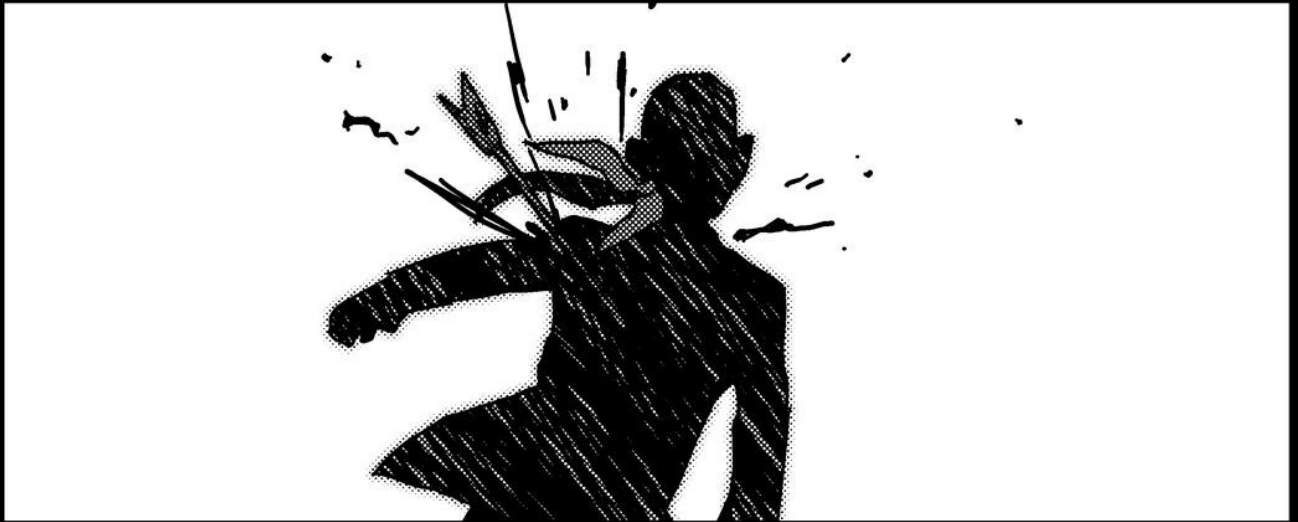
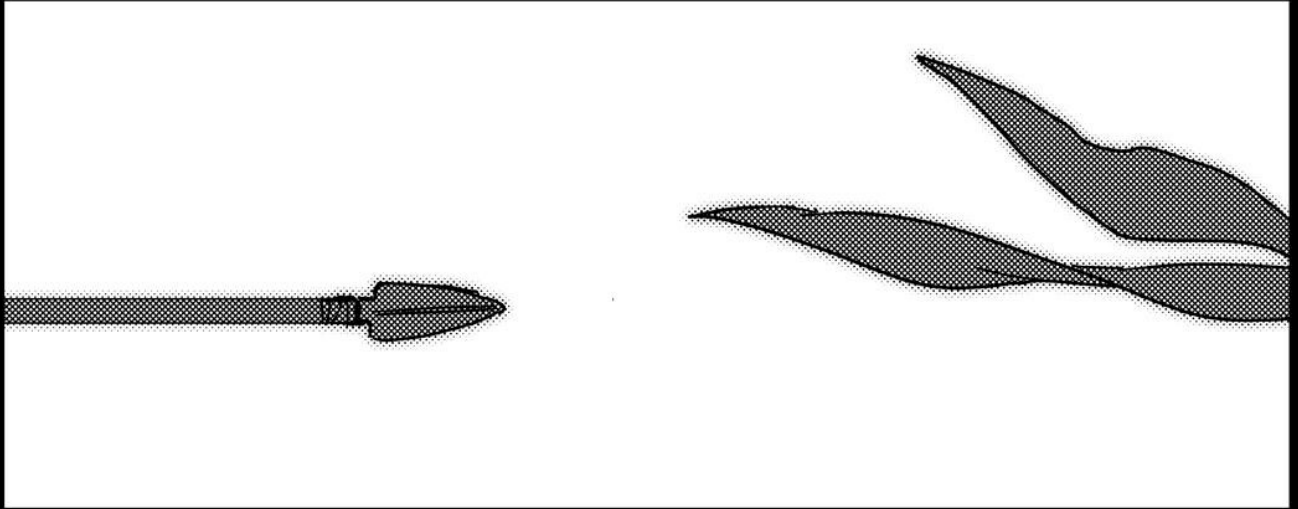
違う、  
俺は、

オレは…

隠せない本能、  
単純明快な欲望。

をれを満たすための遊戯。





だからさあ、  
発散だ。

狩りだ、



狩り！

父上…

終